



平成28年3月期 第70期

決算説明

平成28年5月12日発表

ペガサスミシン製造株式会社





*Stitching Together
New Tomorrows*

**平成28年3月期
(第70期)
通期業績**

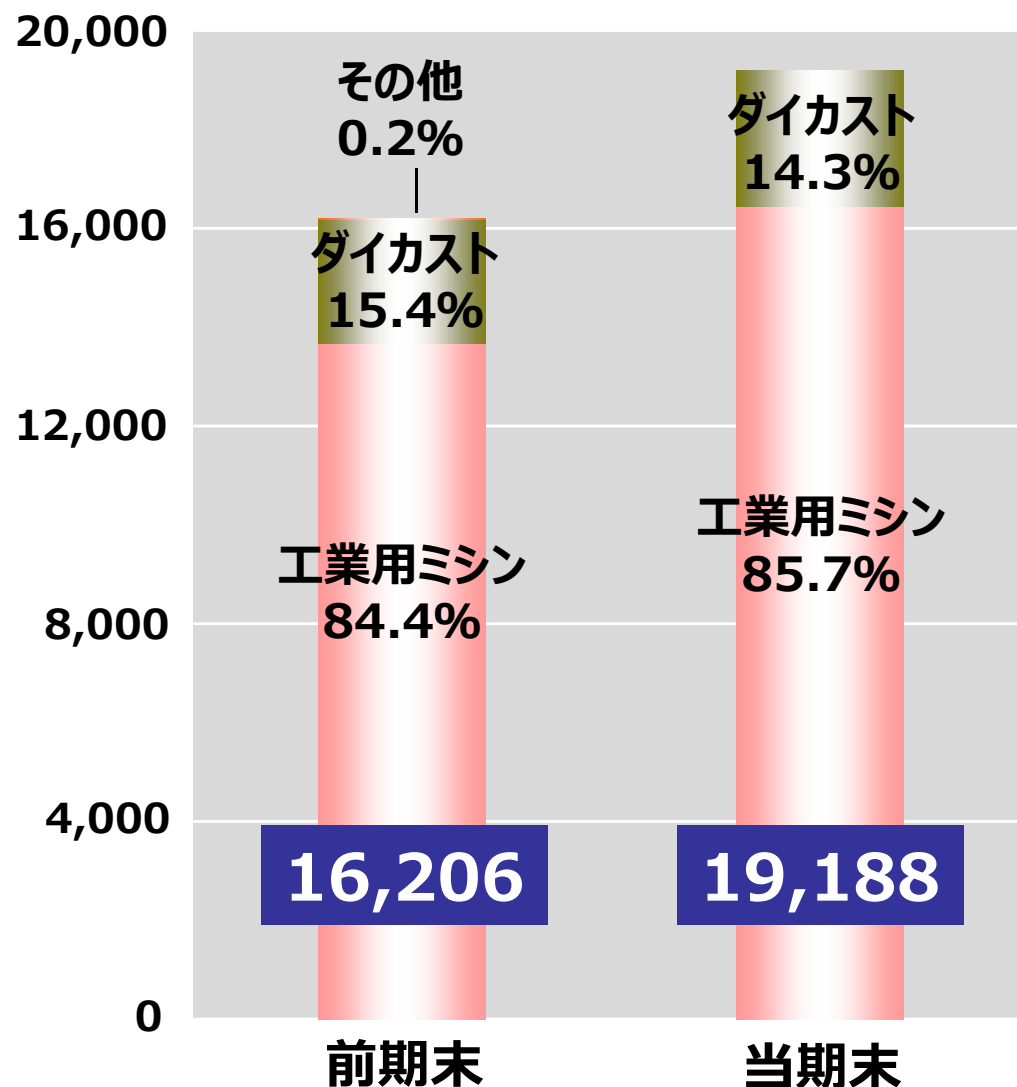
事業環境

- 1 工業用マシン事業のチャイナプラスアザーズの継続に加え、エマージングマーケット（中東、アフリカ等）への波及やTPPに関連した投資案件の具体化
- 2 工業用マシン事業の中国内需販売は効率化を中心としたハイエンド機種への移行が進行
- 3 アパレル業界からの品質に対する要請が一段と高まる中、老朽化した設備のハイエンド機種への買い替えや増設
- 4 ダイカスト事業は自動車販売の減速により、中国で受注の伸び悩みがみられたものの、ベトナムは堅調に推移

連結売上高 (百万円)

● 前年同期比 18.4% (2,982百万円)

(※百万円以下切り捨て)

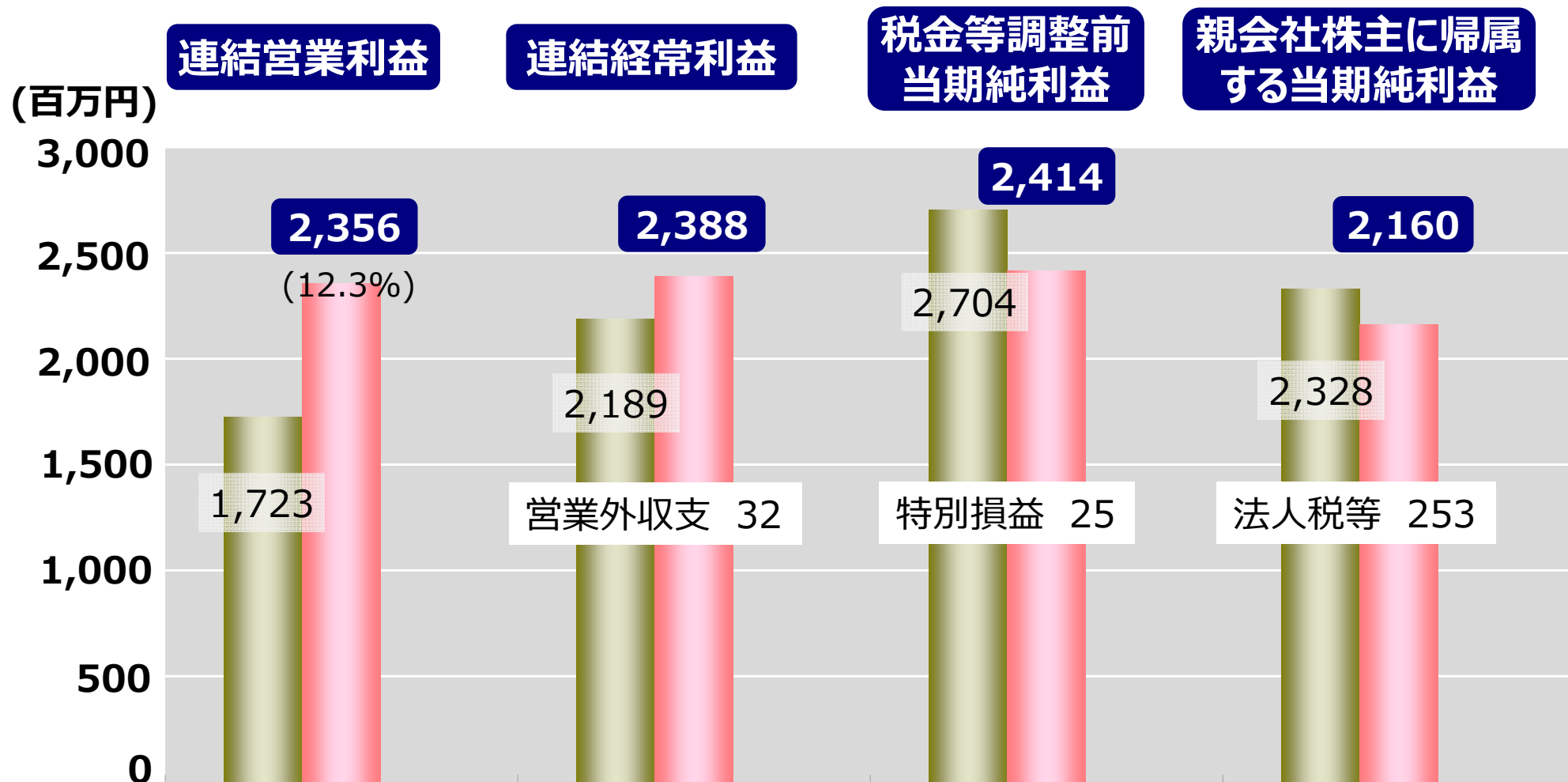


事業別	当期実績	前期比	増減率
工業用マシン	16,445	2,766	20.2%
ダイカスト	2,743	242	9.7%
その他	0	▲26	▲100.0%
連結合計	19,188	2,982	18.4%

前期比要因	前期比	為替の影響額	為替要因除外増減額
工業用マシン	2,766	1,733	1,032
ダイカスト	242	316	▲73
その他	▲26	-	▲26
連結合計	2,982	2,049	932

<工業用マシン>

- 販売台数 前期比 ▲1.9%
- 販売単価 前期比 19.7%
- 為替要因除外 前期比 7.1%



前期比

633 (+36.7%)

199 (+9.1%)

▲289 (▲10.7%)

▲168 (▲7.2%)

(※百万円以下切り捨て)

■ 前期末

■ 当期末

原価悪化要因

- 1) 工業用ミシン事業の操業度低下
- 2) 部品の海外材料調達比率の減少
- 3) 1台当り製造費用の上昇
- 4) 為替の円安により、未実現利益の増加
- 5) 減価償却費の増加
- 6) 中国製造子会社の原価率悪化

原価改善要因

- 1) 為替の円安による販売単価のアップ
- 2) ダイカスト事業のベトナム工場の本格稼働による操業度向上
- 3) 工業用ミシン事業のベトナム工場の生産台数増加による操業度向上
- 4) 部品の転注効果

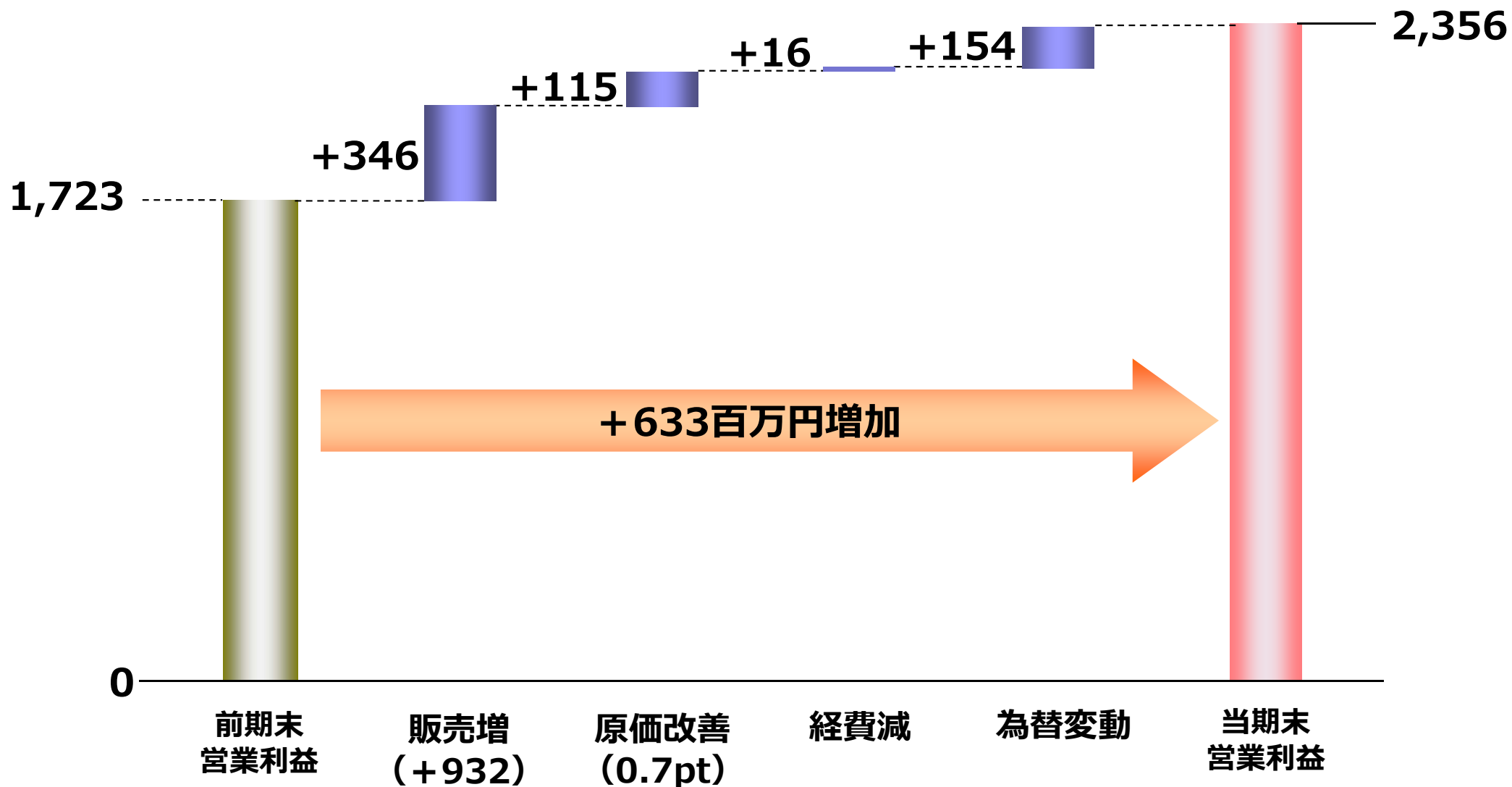
● 為替による影響 (連結業績ベース)

(※百万円以下切り捨て)
(百万円)

通貨	JPY	USD	EUR	RMB	当期実績	為替要因 除外	前期実績	為替要因除外 前期比増減額
期中為替レート	-	¥121.00	¥134.65	¥19.53	-	-	-	-
前期為替レート	-	¥106.37	¥140.67	¥17.32	-	-	-	-
差額	-	¥14.63	▲¥6.02	¥2.21	-	-	-	-
売上高	626	13,703	994	3,864	19,188	17,139	16,206	932
比率	3.3%	71.4%	5.2%	20.1%	100.0%	-	-	-
為替影響額	0	1,656	▲44	437	2,049	-	-	-
売上原価	3,871	3,345	15	5,059	12,291	10,660	10,189	470
比率	31.5%	27.2%	0.1%	41.2%	100.0%	-	-	-
為替影響額	599	416	▲3	619	1,631	-	-	-
販売管理費	2,075	1,435	167	862	4,540	4,277	4,293	▲16
比率	45.7%	31.6%	3.7%	19.0%	100.0%	-	-	-
為替影響額	0	173	▲7	97	263	-	-	-
営業利益	▲5,320	8,922	811	▲2,057	2,356	2,201	1,723	487
為替影響額	▲599	1,066	▲33	▲279	154	-	-	-
原価率					64.1%	62.2%	62.9%	

営業利益増減要因 (百万円)

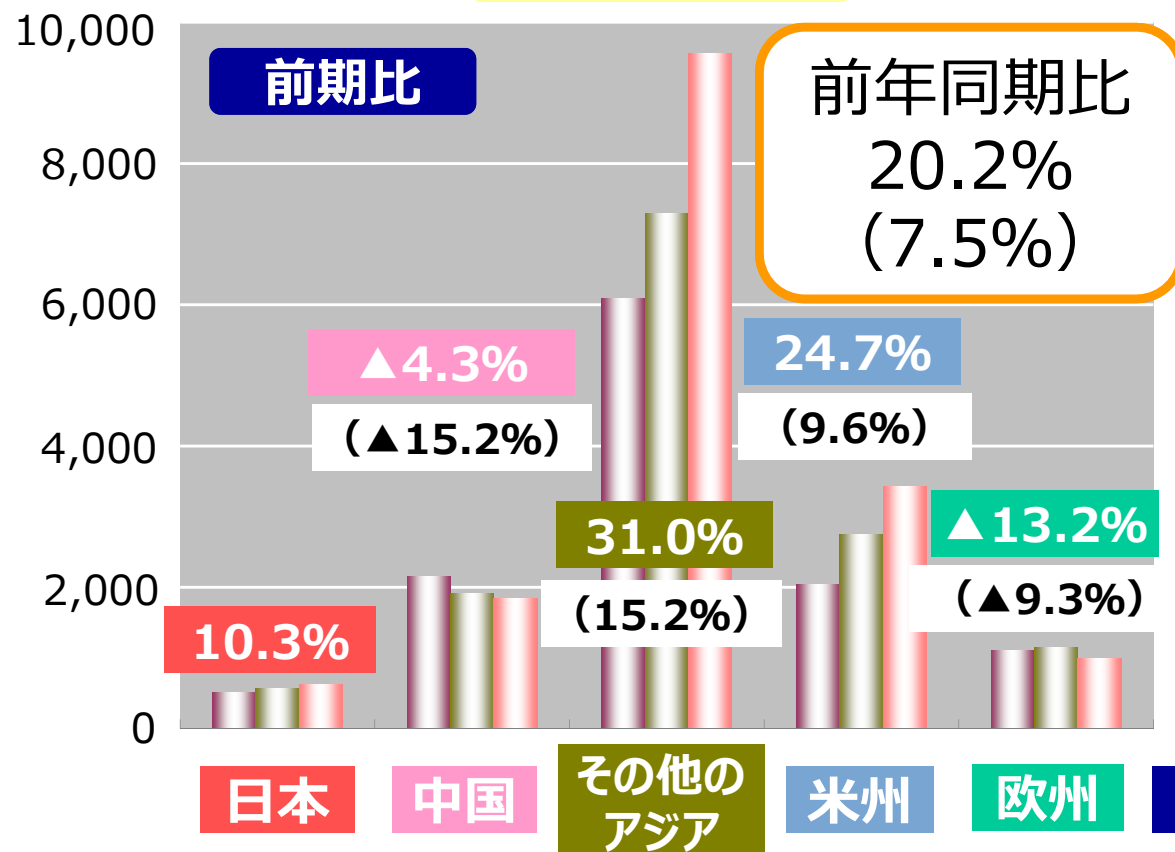
(※百万円以下切り捨て)



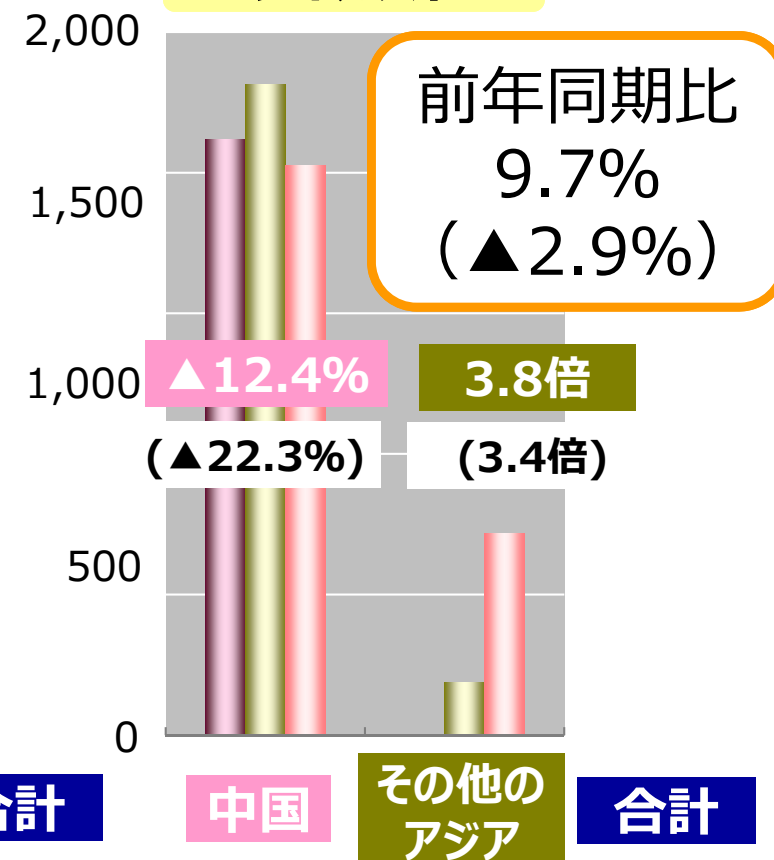
所在地別セグメント売上高(百万円)

※百万円以下切り捨て。()内は為替要因除外の場合の前期比

工業用ミシン



ダイカスト



	日本	中国	その他のアジア	米州	欧州	合計
68期末	512	2,156	6,086	2,046	1,106	11,909
69期末	568	1,920	7,293	2,751	1,145	13,678
70期末	626	1,836	9,556	3,430	994	16,445

	中国	その他のアジア	合計
68期末	2,119	0	2,119
69期末	2,315	186	2,501
70期末	2,027	716	2,743

連結貸借対照表

(※百万円以下切り捨て)

資 産

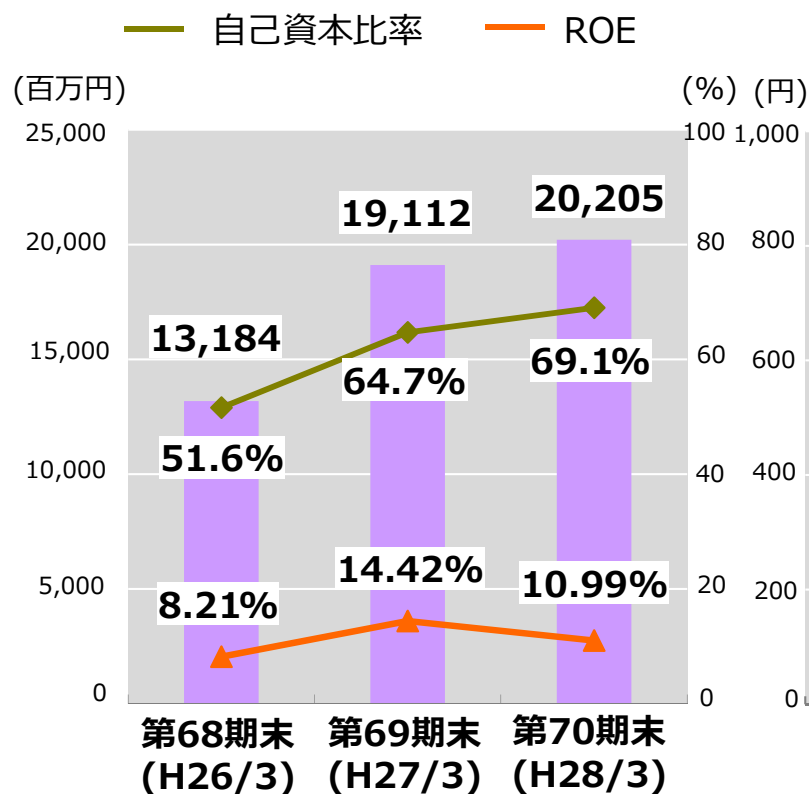
負債・資本・純資産

(百万円)	当期末	前期末比
資産合計	29,237	▲286
流動資産	21,593	59
現金及び預金	7,237	▲338
受取手形及び売掛金	4,969	104
棚卸資産	8,504	253
繰延税金資産ほか	882	39
固定資産	7,644	▲345
有形固定資産	6,385	▲46
建物および構築物	3,430	528
機械	1,794	▲109
工具、備品	123	▲8
建設仮勘定	110	▲455
無形固定資産	704	▲42
投資その他の資産	553	▲257
記載のない資産については一千万円以下の増減		

(百万円)	当期末	前期末比
負債合計	8,326	▲1,349
流動負債	5,560	▲39
支払手形及び買掛金	1,937	554
借入金及び社債	2,210	▲626
固定負債	2,765	▲1,309
借入金及び社債	1,801	▲879
その他	963	▲430
純資産合計	20,911	1,062
株主資本	17,364	1,788
資本金	2,255	0
資本剰余金	2,983	0
利益剰余金	12,131	1,788
自己株式	▲5	0
その他の包括利益累計額	2,840	▲695
為替換算調整勘定	2,983	▲453
非支配株主持分	706	▲29

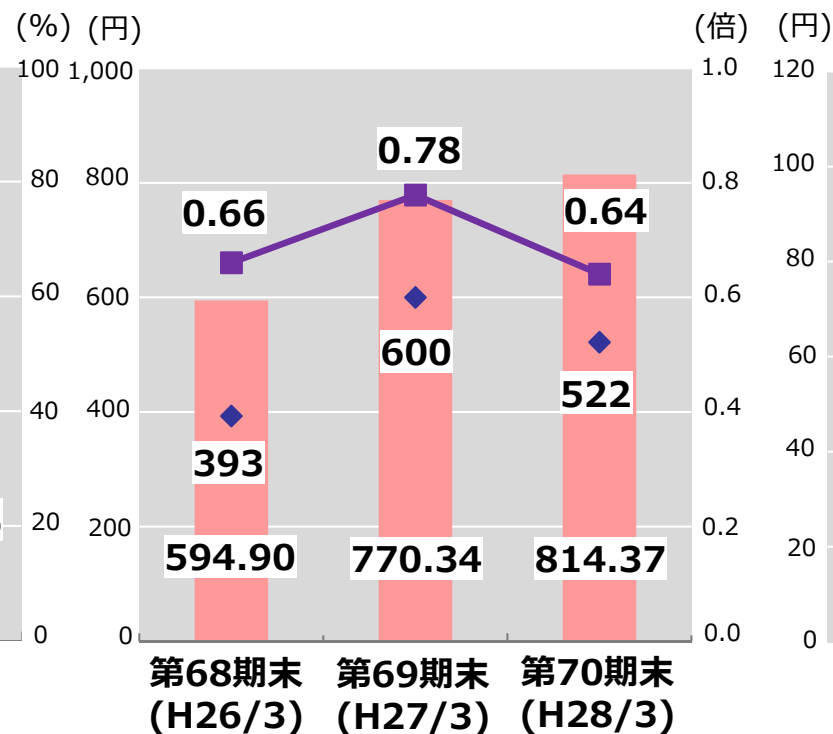
連結財政状況

自己資本/自己資本比率/ROE



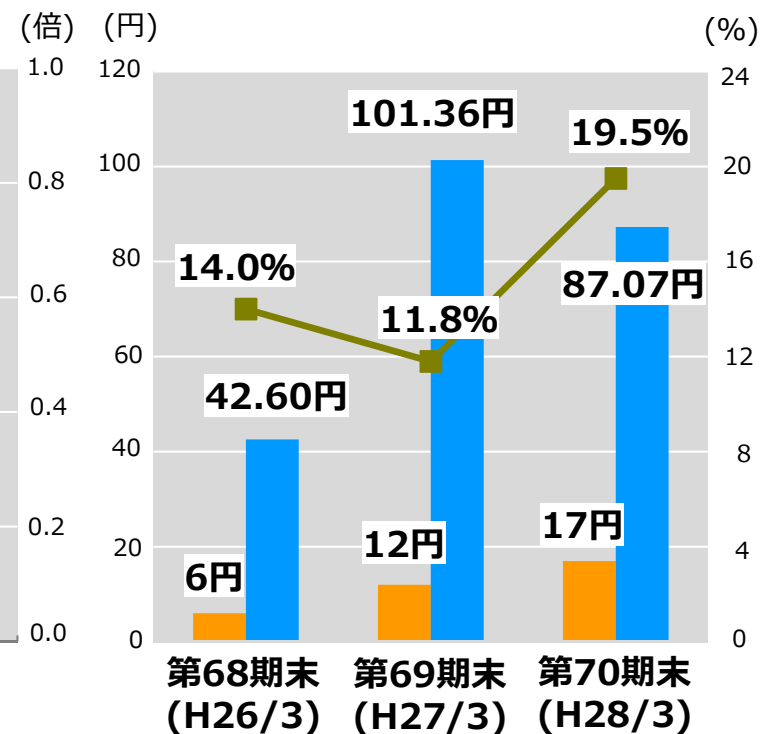
1株当り純資産/PBR

◆ 期末株価 — PBR



1株利益/配当金/配当性向

— 1株利益

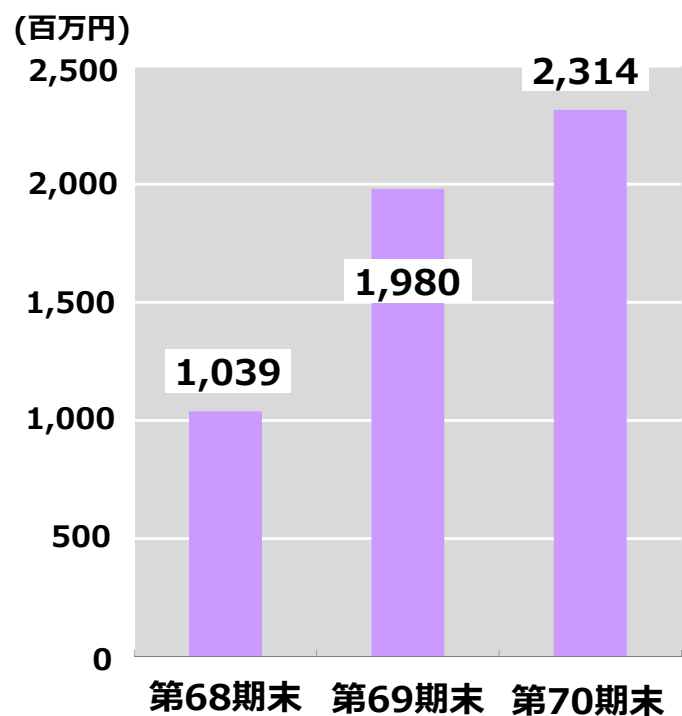


※ROE：当期純利益÷期初期末平均自己資本

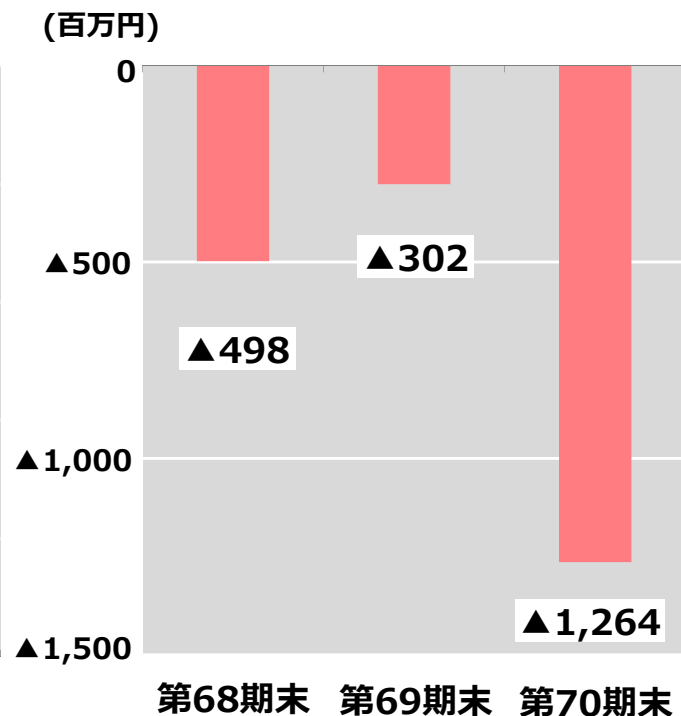
連結キャッシュフロー

(※百万円以下切り捨て)

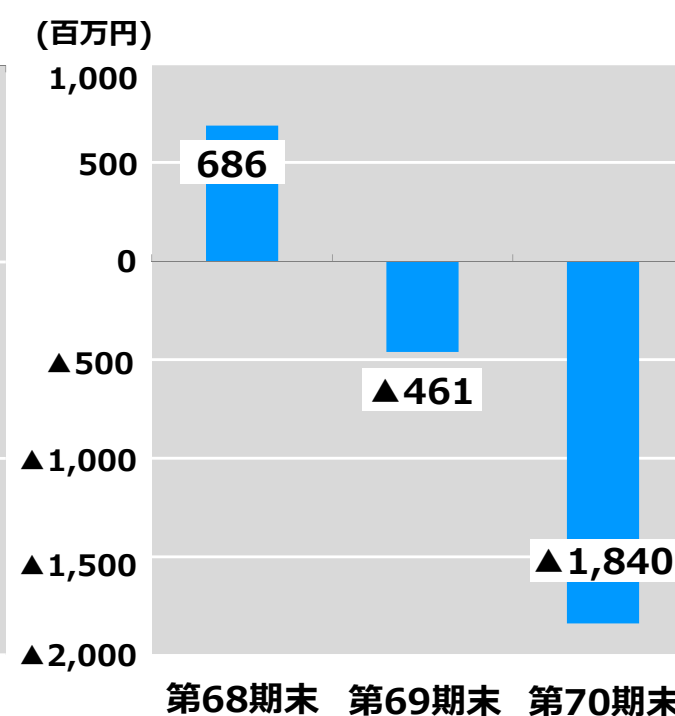
営業活動CF



投資活動CF

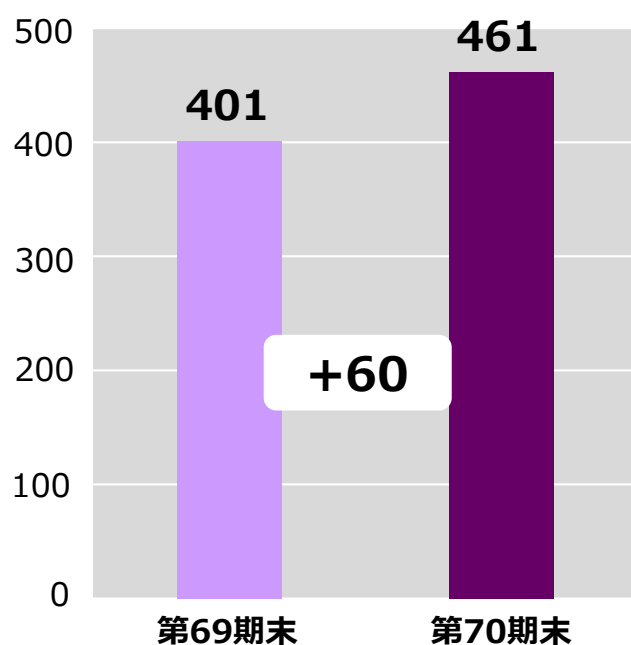


財務活動CF

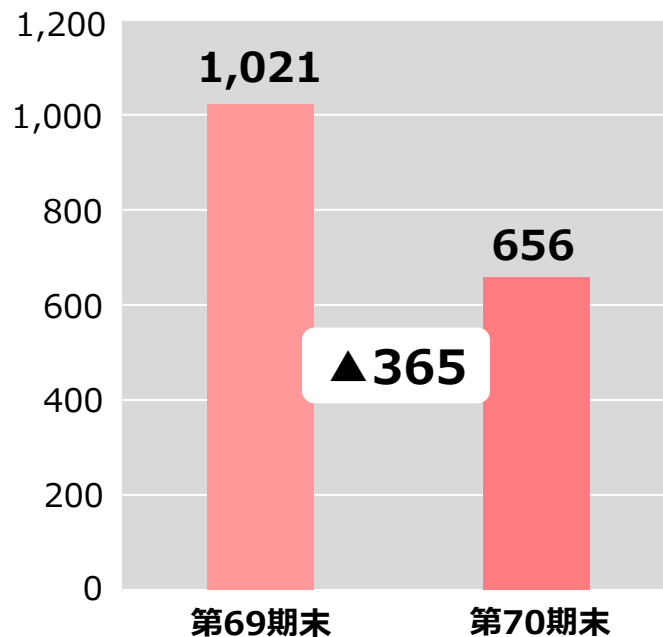


(単位：百万円 百万円以下は切り捨て)

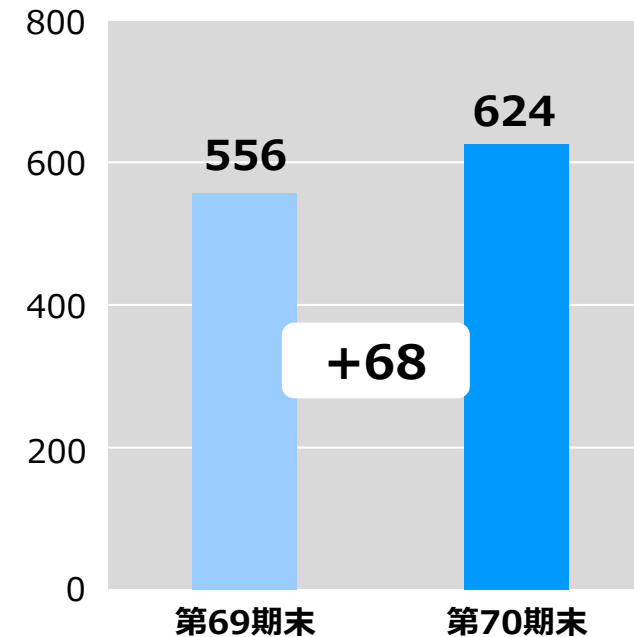
研究開発費



設備投資費



減価償却費



会社名	内容	投資額(百万円)
ペガサスミシン製造株式会社 滋賀工場	主に生産設備の設置	100
美馬精機株式会社	主に工場棟の建設	120
天津ペガサス嶋本自動車部品有限公司	主に工場棟の建設	136
PEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS (VIETNAM) CO., LTD.	主に生産設備の設置	152



*Stitching Together
New Tomorrows*

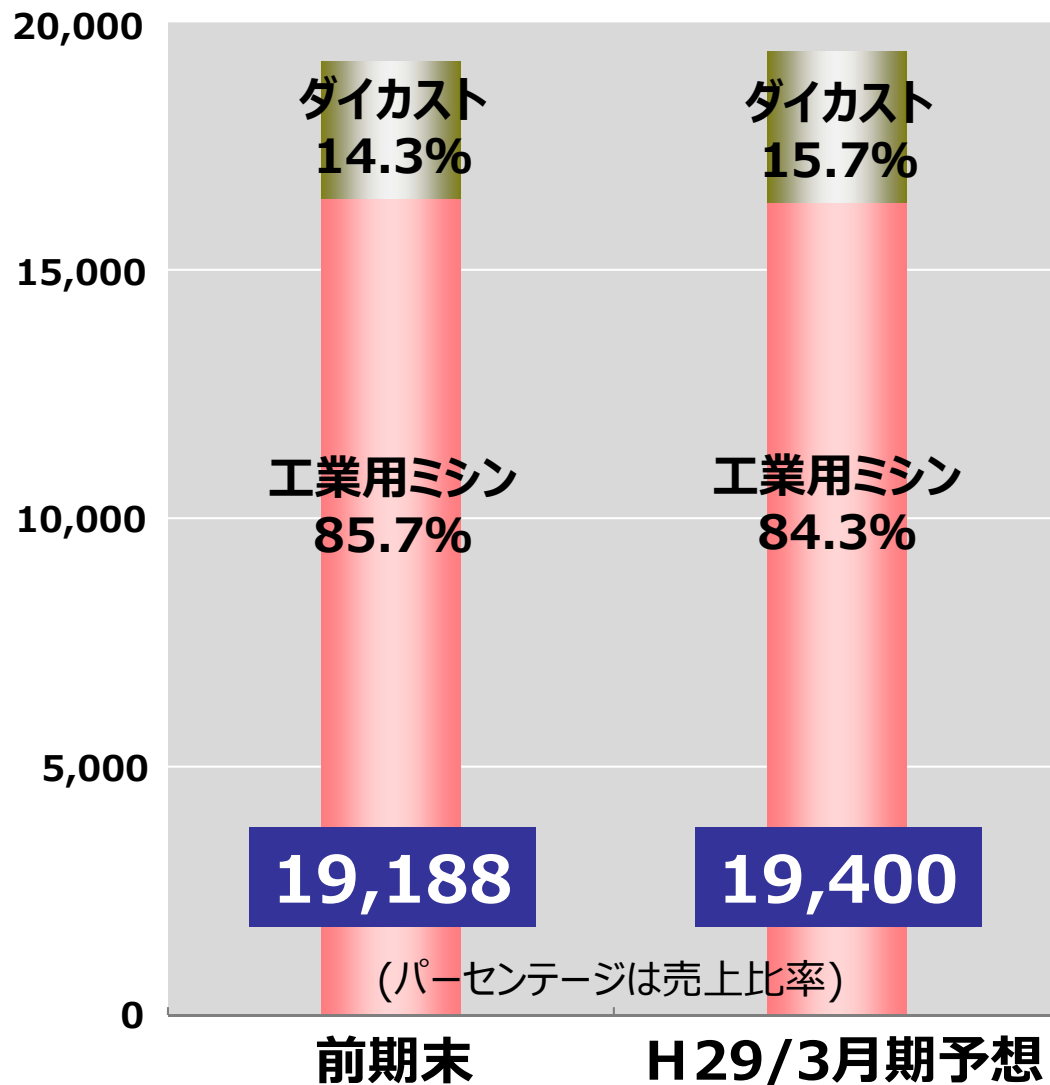
**平成29年3月期
(第71期)
業績予想**

事業環境

- 1 工業用ミシン事業のチャイナプラスアザーズの継続と、各種FTAを見据えた投資
- 2 中国内需市場の底打ち感
- 3 ダイカスト事業のメキシコでの販売開始と既存市場の新規取引先の開拓
- 4 日米欧の金融政策と中国や新興国の経済動向
- 5 為替の動向

連結売上高 (百万円) ● **前年同期比 1.1% (212百万円)**

(百万円以下切り捨て)



	当期 予想	前期	増減額	増減率
工業用ミシン	16,355	16,445	▲90	▲0.5%
ダイカスト	3,045	2,743	302	11.0%
連結合計	19,400	19,188	212	1.1%

前期比要因	前期比	為替の影響額	為替要因除外 増減額
工業用ミシン	▲90	▲1,423	1,333
ダイカスト	302	▲376	678
連結合計	212	▲1,800	2,011

＜工業用ミシン＞

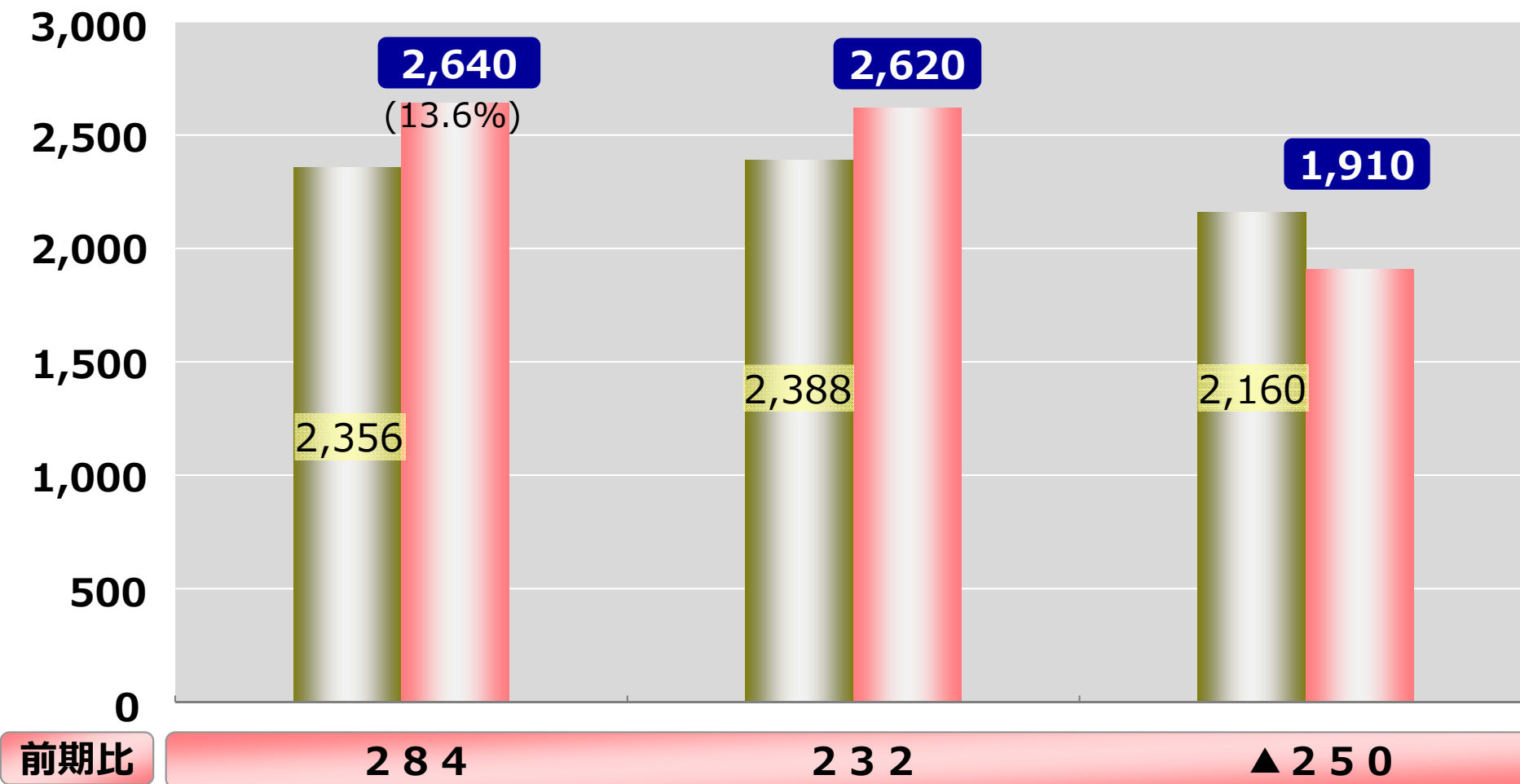
- 販売台数 前期比 14.3%
- 販売単価 前期比 ▲11.7%
- 為替要因除外 前期比 ▲3.8%

(百万円)

連結営業利益

連結経常利益

連結当期純利益



※百万円以下切り捨て

■ 前期末

■ 当期末予想

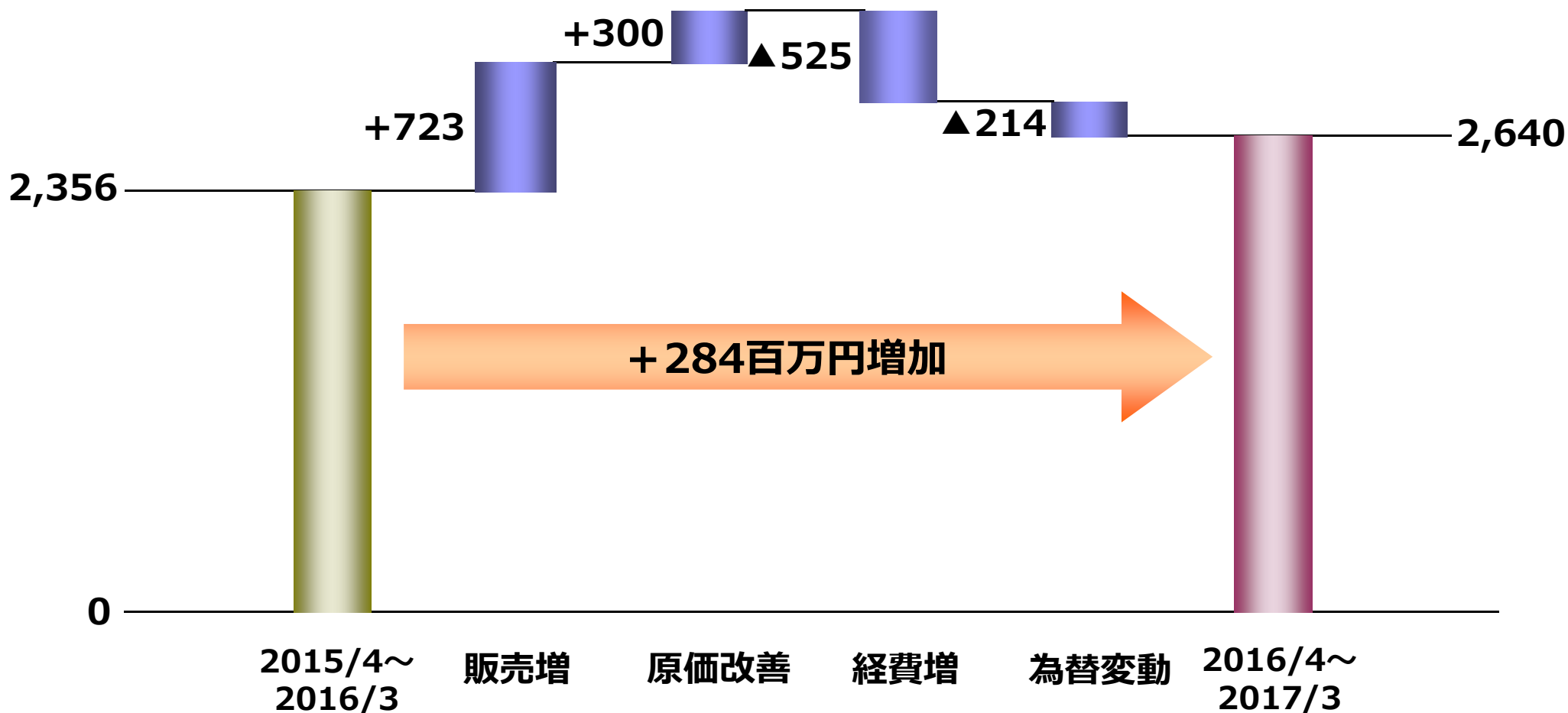
● 為替による影響 (平成29年3月期 連結業績予想ベース) (百万円)

※百万円以下切り捨て

通貨	JPY	USD	EUR	RMB	H29/3 計画	為替要因 除外	前期実績	為替要因除外 前期比増減額
計画レート	-	¥112.00	¥120.00	¥17.00	-	-	-	-
前期期中レート	-	¥121.00	¥134.65	¥19.53	-	-	-	-
差額	-	▲¥9.00	▲¥14.65	▲¥2.53	-	-	-	-
売上高	588	14,208	975	3,629	19,400	21,200	19,188	2,012
比率	3.0%	73.2%	5.0%	18.7%	100.0%	-	-	-
為替影響額	0	▲1,141	▲119	▲540	▲1,800	-	-	-
売上原価	3,495	3,402	9	5,069	11,975	13,280	12,291	989
比率	29.2%	28.4%	0.1%	42.3%	100.0%	-	-	-
為替影響額	▲218	▲295	▲4	▲788	▲1,305	-	-	-
販売管理費	2,116	1,642	154	873	4,785	5,065	4,540	525
比率	44.2%	34.3%	3.2%	18.2%	100.0%	-	-	-
為替影響額	0	▲132	▲19	▲130	▲280	-	-	-
営業利益	▲5,023	9,164	812	▲2,313	2,640	2,854	2,356	498
為替影響額	218	▲714	▲96	378	▲214	-	-	-
原価率	-	-	-	-	61.7%	62.6%	64.1%	-

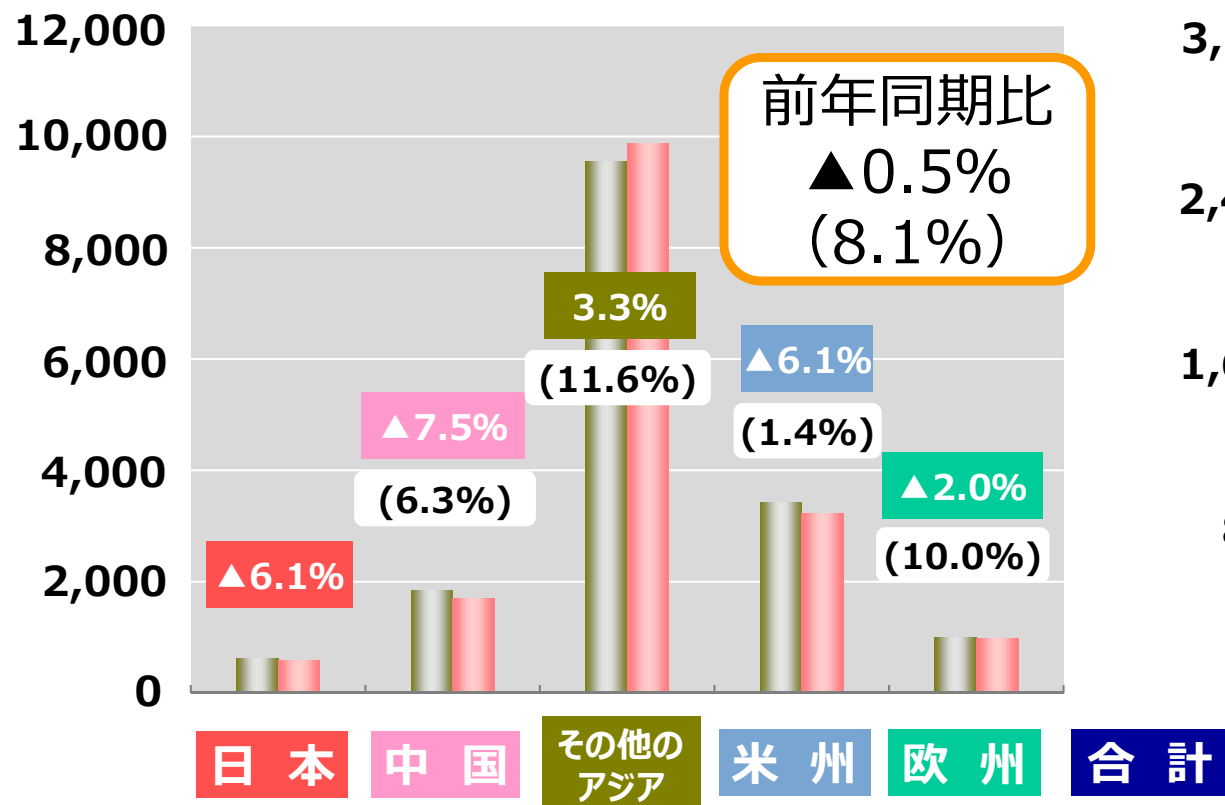
営業利益増減要因

(百万円)

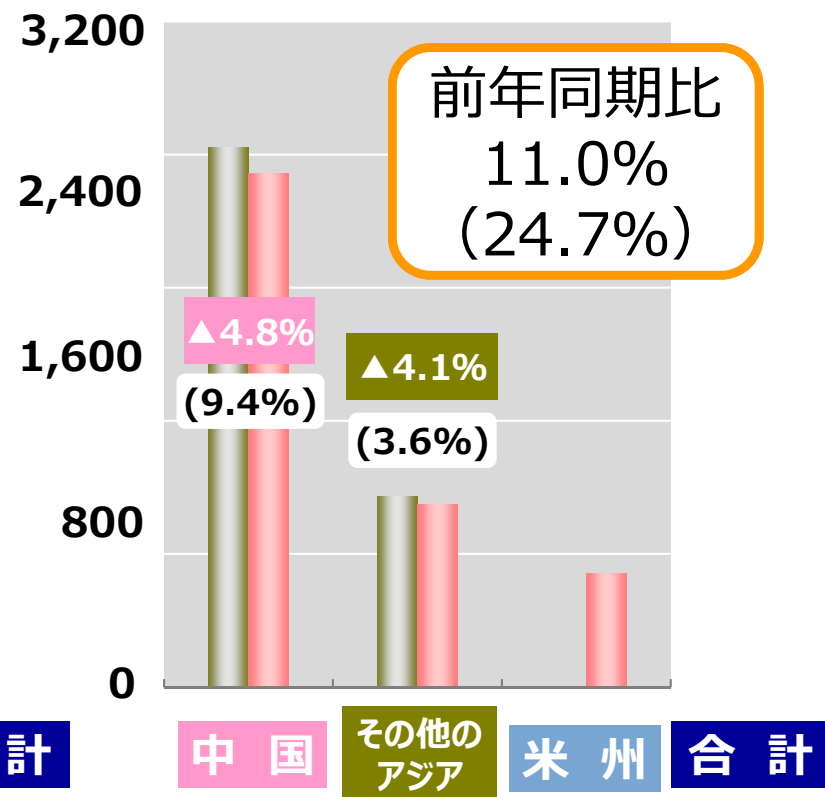


事業別所在地別セグメント売上高(百万円)

工業用ミシン



ダイカスト



	日本	中国	その他のアジア	米州	欧州	合計
第70期	626	1,836	9,556	3,430	994	16,445
第71期	588	1,699	9,872	3,221	975	16,355

	中国	その他のアジア	米州	合計
第70期	2,027	716	-	2,743
第71期	1,930	687	428	3,045

※グラフ () 内は為替要因除外の場合の前期比

※百万円以下切り捨て

設備投資

- ・70期実績 : 656百万円
- ・71期計画 : 587百万円 (前期比 ▲68百万円)
 - ペガサスミシン製造株式会社 159百万円
 - 天津ペガサス嶋本自動車部品有限公司 158百万円
 - PEGASUS VIETNAM SEWING MACHINE CO., LTD. 95百万円

減価償却費

- ・70期実績 : 624百万円
- ・71期計画 : 747百万円 (前期比 122百万円)

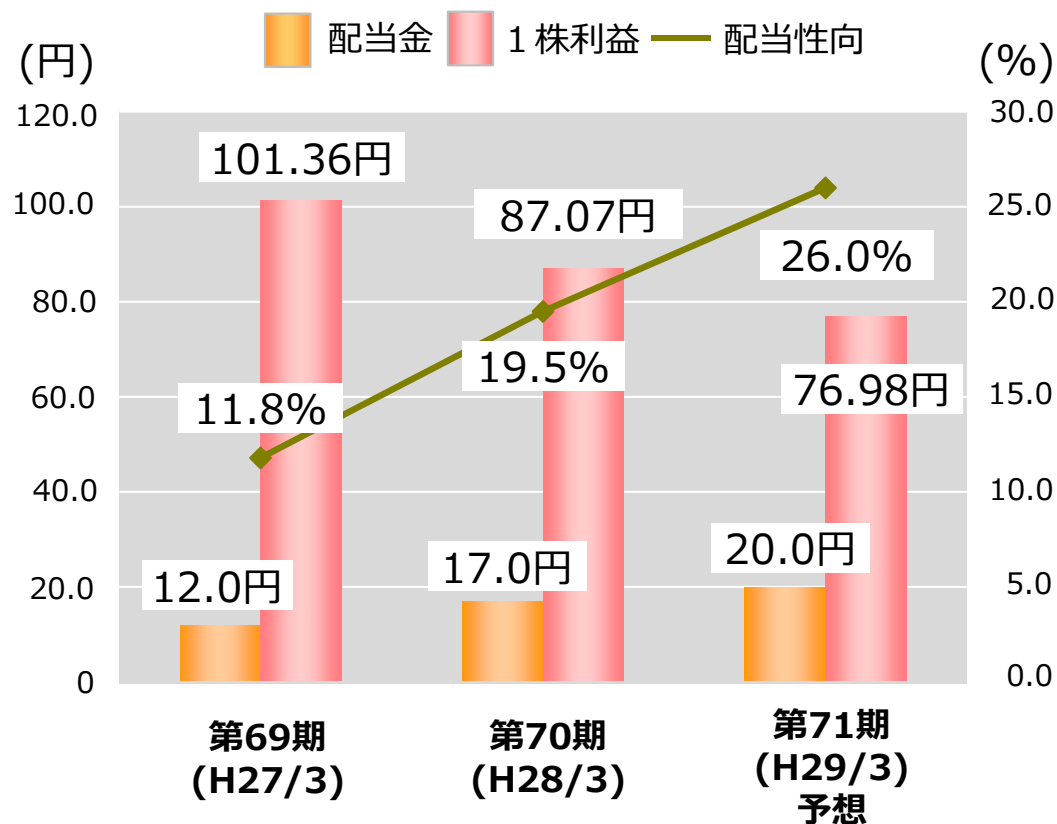
研究開発費

- ・70期実績 : 461百万円
- ・71期計画 : 510百万円 (前期比 49百万円)

配当予想

	中間	期末	年間
第69期	4円	8円 (うち2円記念配)	12円
第70期	7円	10円 (うち3円記念配)	17円
第71期 (予想)	10円	10円	20円

1株利益/配当金/配当性向





*Stitching Together
New Tomorrows*

**平成29年3月期
(第71期)
重点課題**

1. 成長戦略

1) 工業用ミシン事業の拡大

- * 3つの差別化（製品・品質・サービス）の徹底
- * 中国市場に代わる普及機種市場の開拓&参入
- * 販売・サービス機能の強化
- * オセロ作戦の強化
- * 中国製ハイエンド機種の拡販
- * 非アパレル・異業種への参入

2) ダイカスト事業の拡大

- * 取引先の拡大
- * セールスエンジニアの育成

3) 第3の柱となる事業の検討スタート

2. 収益構造の強化

- 1) 工業用マシン事業における生産体制の効率化・原価低減の推進
 - *独自の生産プロセスの確立
 - *部品供給体制の効率化
 - *生産拠点の棲み分け

3. 経営基盤の強化

- 1) ガバナンス体制の強化
 - *企業理念、行動指針のグループへの定着
 - *コンプライアンス、リスクマネジメントの強化
- 2) 人材の充実
 - *次世代リーダーの育成、グローバル化、多様化への対応
 - *競争力強化への対応



*Stitching Together
New Tomorrows*

中期経営計画

2017年3月期～
2020年3月期

- ・はじめに
- ・目指すグループ像
- ・当社を取り巻く環境
- ・中期経営計画の基本方針
- ・業績目標
- ・具体的施策
- ・財務方針

(企業理念)

「人」と「技術」を通じて、よりよい製品・サービス・品質の提供に取り組み、 社会の発展に貢献すること

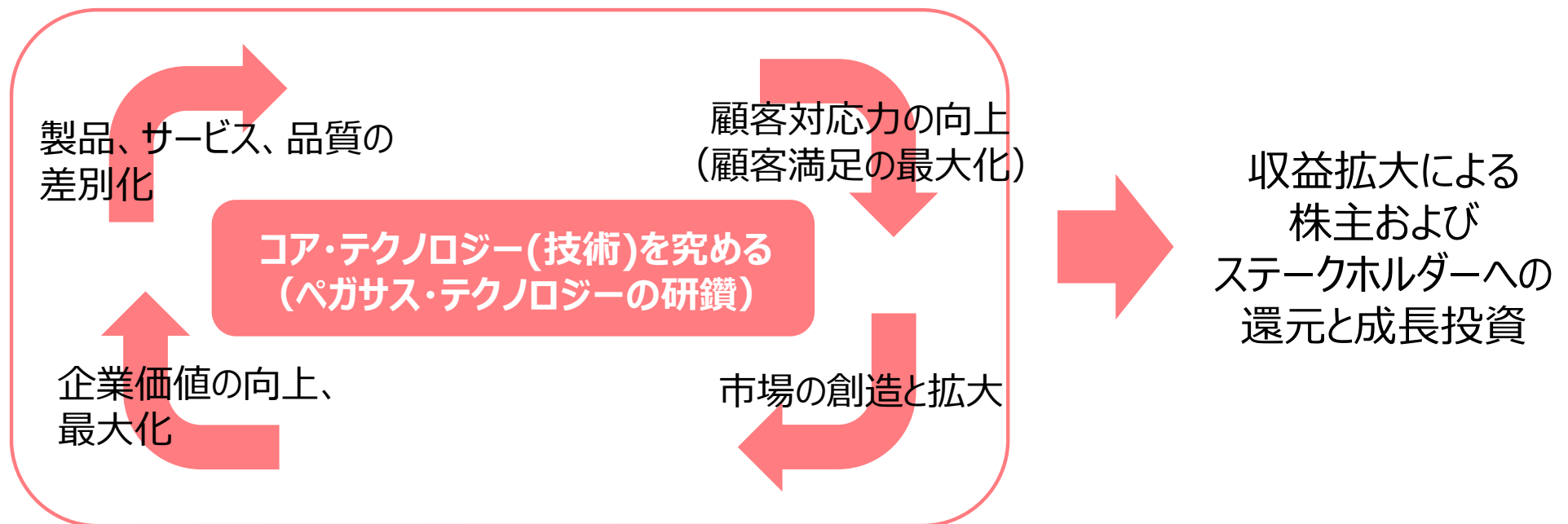
当社企業グループは工業用環縫いミシンの専門メーカーとして、創業以来「人と技術を通じて世界の衣料文化の発展に貢献する」ことをグループ共通の企業理念とし、企業活動を展開してまいりました。

現在の私たちの企業活動は、人々の日常生活を支える「衣・食・住」の「衣」だけではなく、これまでに培った精緻な加工技術を活かし、ダイカスト製品への展開を通じて自動車産業分野へも広がっております。

これからも「良き企業市民」として、これまで培ってきた人と技術、ノウハウをベースに、社会のニーズに応えるためペガサス・テクノロジーの研鑽に努め、持続可能な社会の実現を目指し、より良い製品、サービスなどの提供に取り組んでまいります。

IV-03 目指すグループ像

グローバル・ニッチ企業として、コア・テクノロジー（ペガサス・テクノロジー）を究め、高度な技術力と独自の生産プロセスで市場の創造と拡大を図り、より強固な経営基盤の構築を図ることで、企業価値の向上を目指す。



2016年～2020年の事業環境認識

チャイナプラスアザーズから
アフター・チャイナプラスアザーズへ

未開拓市場の台頭

メガFTA(TPP等)による市場拡大
、競合の多様化、競争の激化

I o T 等による生産イノベーション

為替動向や中国経済が与える
世界経済への影響

中期経営計画のテーマ

かつてないグローバルかつボーダレスな市場の急激な変化に対し、
高度な技術力と独自の生産プロセスにより、お客様と共に成長する
ための顧客対応力強化

企業価値の向上

BEYOND THE LIMITS ～ 限界を超えてみせる ～

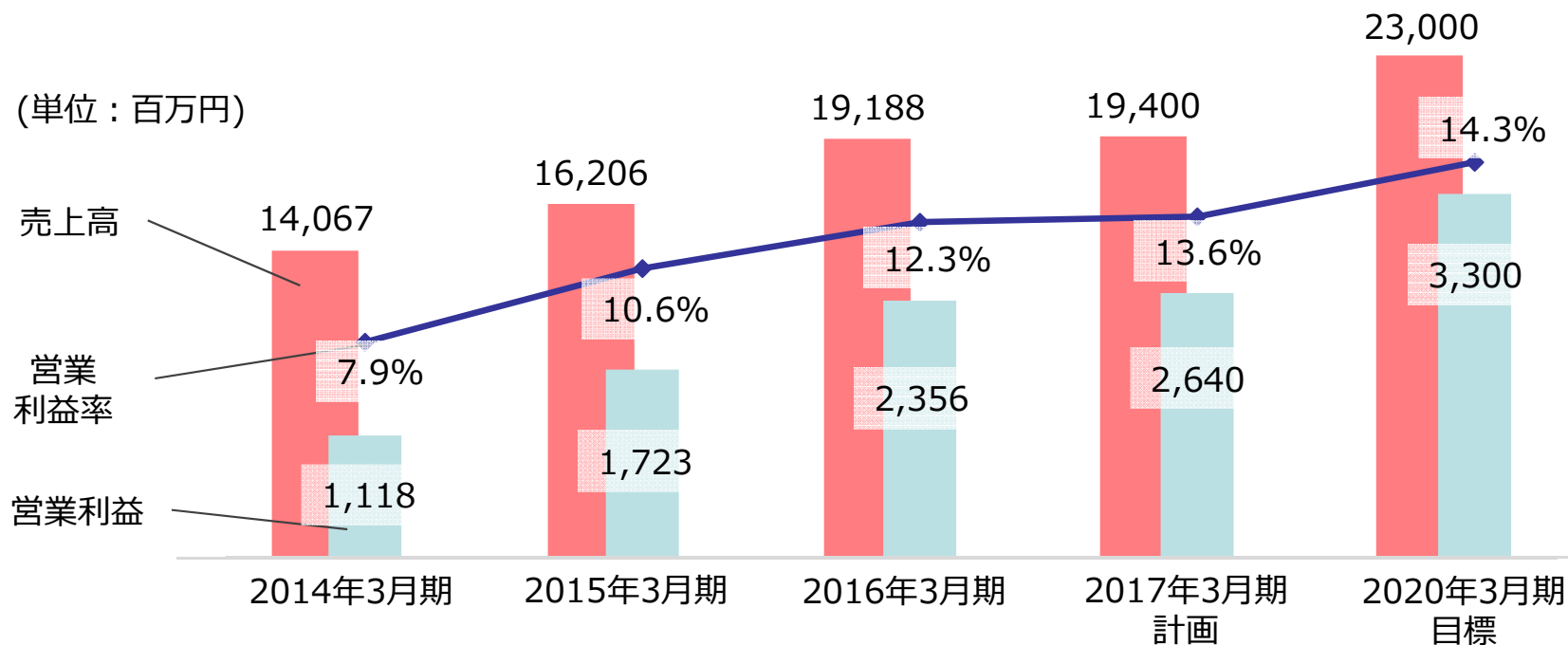
をスローガンとして掲げ、次の項目を基本方針とする。

- 1) 三つの差別化を徹底し、市場の創造と拡大を図ることで、環縫いミシン業界において、他社の追随を許さない確固たる基盤を構築する。
- 2) 製品の高付加価値化と営業力強化により、ダイカスト事業の体質強化を図りながら、販路拡大を目指す。
- 3) 強固な財務基盤を構築しながら、資金の有効活用を実行し、企業価値向上を目指す。
- 4) 株主への還元を経営の最優先課題の一つとして位置付け、配当性向30%を目指す。

～2016年度
収益の回復

2016年～
グローバル・ニッチ企業
としての基盤づくり

2020年～
グローバル・ニッチ企業
としての更なる飛躍



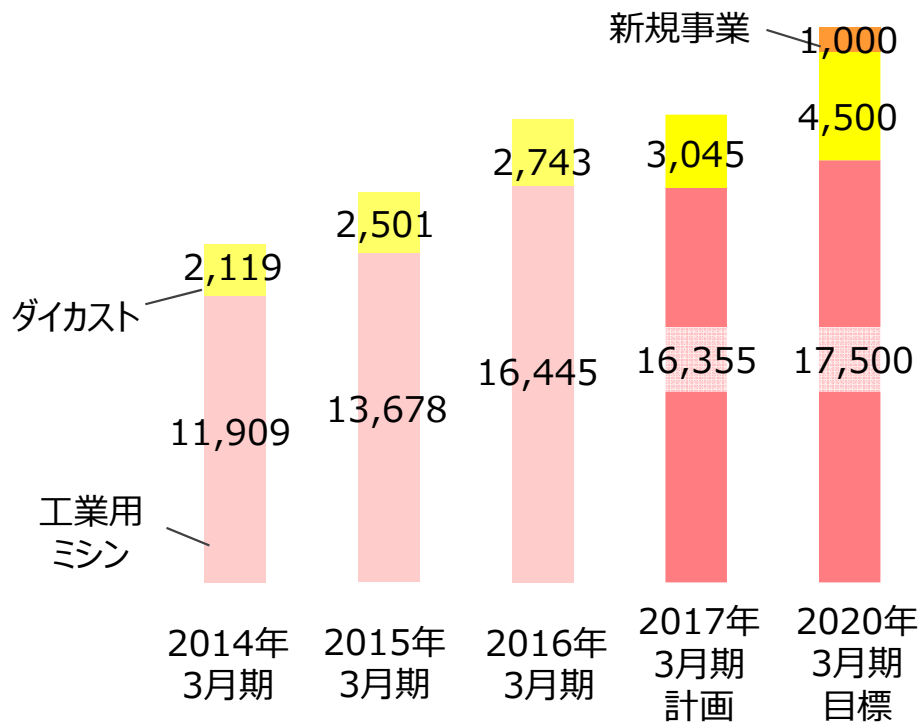
為替レート

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期以降
USD	97.11	106.37	121.00	112.00
EUR	129.31	140.67	134.65	120.00
RMB	15.61	17.23	19.53	17.00

IV-07 事業別業績目標

売上高

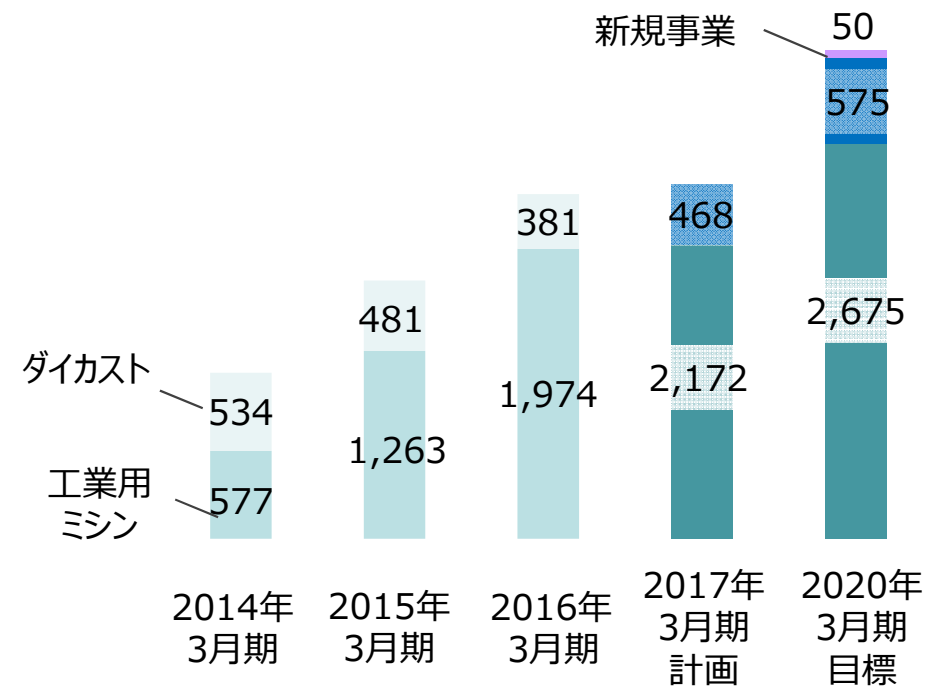
単位：百万円



売上高	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2020/3
連結	14,067	16,206	19,188	19,400	23,000
工業用マシン	11,909	13,678	16,445	16,355	17,500
ダイカスト	2,119	2,501	2,743	3,045	4,500
その他	38	26	-	-	1,000

営業利益

単位：百万円



営業利益	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2020/3
連結	1,118	1,723	2,356	2,640	3,300
工業用マシン	577	1,263	1,974	2,172	2,675
ダイカスト	534	481	381	468	575
その他	5	▲22	-	-	50

成長戦略 (持続的継続的發展への布石)

工業用マシン事業の拡大

ダイカスト事業の拡大

新たな成長事業の構築

収益構造の強化 (継続的な業務効率の改革・改善や生産技術革新によるコスト低減)

工業用マシン事業における生産体制の効率化・原価低減の推進

経営基盤の強化 (グローバルな事業展開を支えるための経営インフラの充実)

ガバナンス体制の強化

人材の充実

組織体制の強化

BEYOND THE LIMITS

成長戦略 (売上高230億円)

工業用マシン事業の拡大

- 1) 三つの差別化の徹底
- 2) 市場の創造・拡大

ダイカスト事業の拡大

- 1) 北米、メキシコ市場での新規取引先開拓
- 2) 既存市場での販路拡大

新たな成長事業の構築

- 1) M&Aや連携、提携を含めた、新規事業による第3の柱の構築の推進
- 2) 専属担当者の配置
- 3) 情報収集ルートが多様化

BEYOND THE LIMITS

収益構造の強化 (営業利益33億円)

工業用マシン事業における生産体制の効率化・原価低減の推進

- 1) 独自の生産プロセスの確立
- 2) 部品供給体制の効率化
- 3) 生産拠点の棲み分け

経営基盤の強化

ガバナンス体制の強化

- 1) 企業理念、行動指針のグループへの定着
- 2) コンプライアンス、リスクマネジメントの強化

人材の充実

- 1) 次世代リーダーの育成
- 2) グローバル化、多様化への対応
- 3) 競争力強化への対応

BEYOND THE LIMITS

財務方針

営業キャッシュフローの強化

- ・成長戦略と収益構造の強化による継続的安定的な収益の向上
- ・製品、部品のリードタイム短縮による在庫圧縮と効率化
- ・営業利益率 10%～15%を目指す

投資

- ・20億円程度を成長投資へ。

資金調達

- ・営業キャッシュフロー強化によるフリーキャッシュフローの継続的な創出
- ・海外に分散する資金の効率的活用。

株主還元

- ・安定的かつ継続的な配当を実現。配当性向 30%を目指す。
- ・純利益増加により、安定的にROE 8.0%以上を目指す。



*Stitching Together
New Tomorrows*

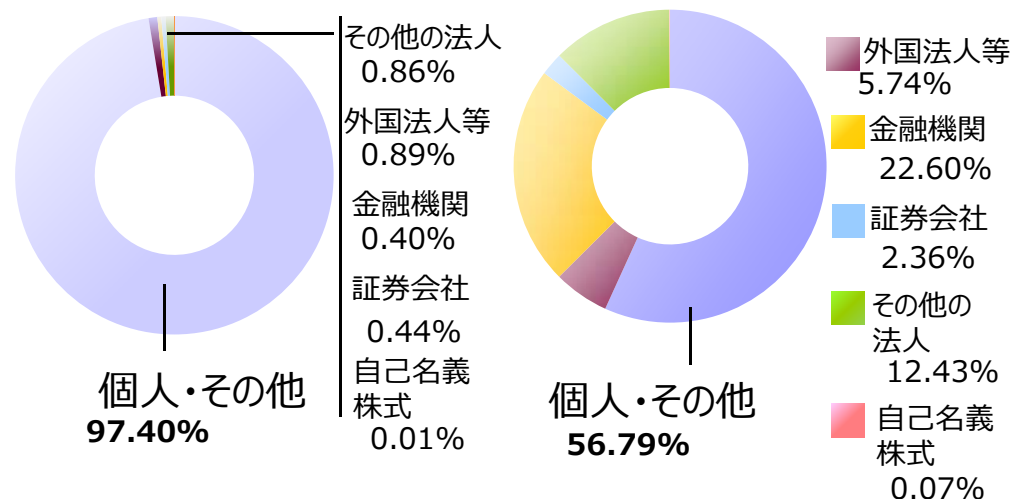
会社概要

● 会社概要

会社名	ペガサスミシン製造株式会社
代表者	代表取締役会長 清水盛明 代表取締役社長 美馬成望
創業	1914年（大正3年）1月
所在地	大阪市福島区
資本金	22億5,555万円（平成28年3月末現在）
売上高	191億8,887万円（平成28年3月末現在）
従業員数	1,348名（連結平成28年3月末現在） 215名（単体平成28年3月末現在）
事業内容	工業用環縫いミシンおよび部品の製造・販売 自動車用安全ベルト関連部品の製造・販売

● 株主状況 平成28年3月末時点

◆所有者別比率(%) ◆所有者別持株数比率(%)



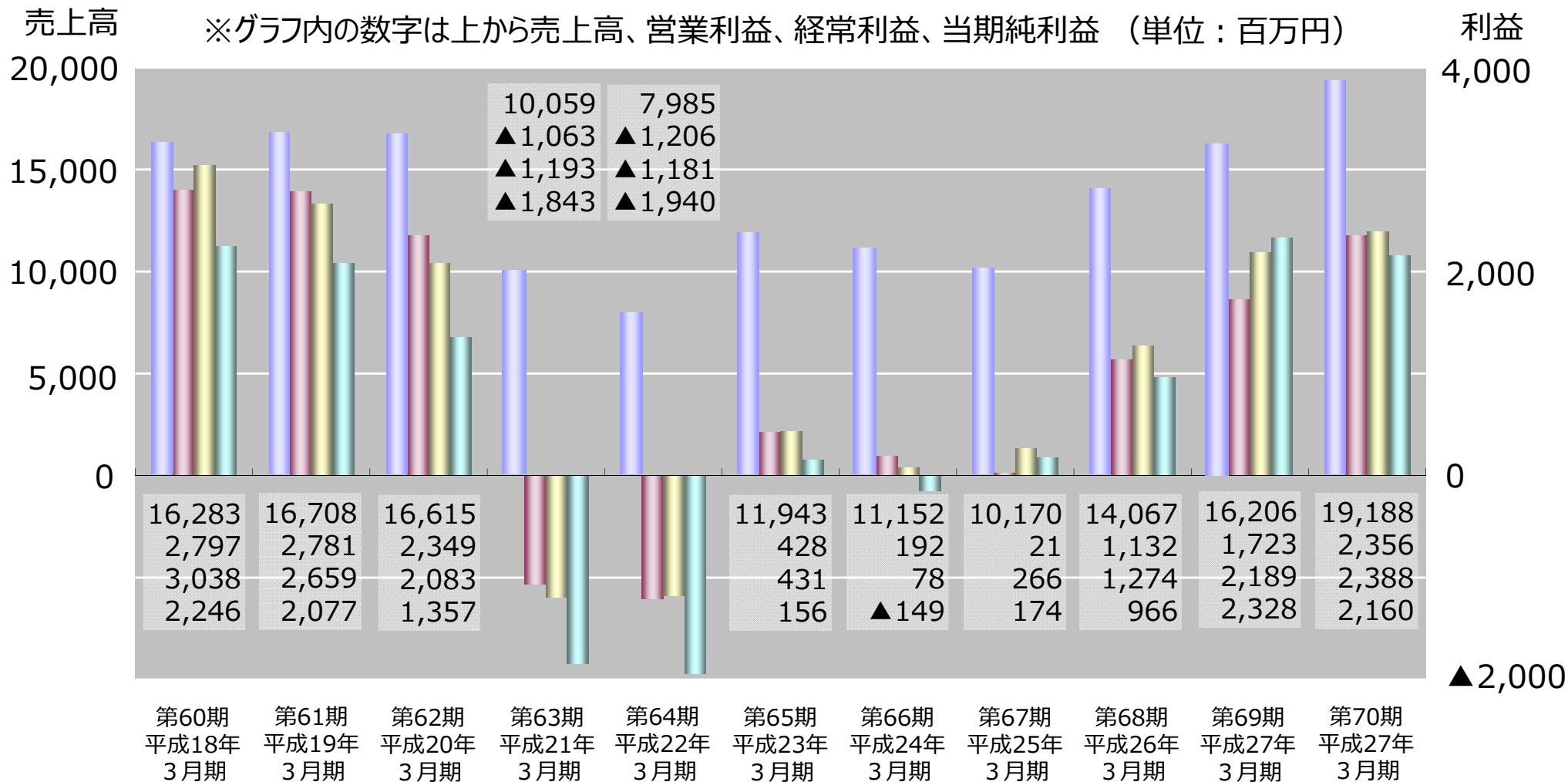
大株主の状況

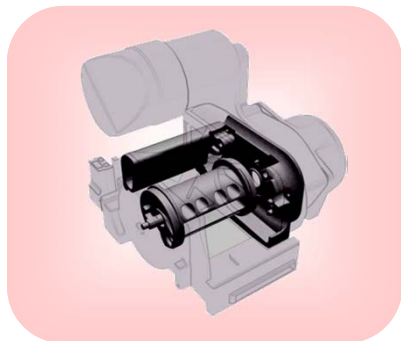
平成28年3月末時点

氏名または名称	割合(%)
1 株式会社美馬	6.26
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	6.20
3 株式会社三井住友銀行	3.35
4 板東敬三	2.99
5 吉田隆子	2.86
6 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2.72
7 美馬成望	2.61
8 ペガサスミシン従業員持株会	2.05
9 美馬正道	1.89
10 板東雄大	1.89
計	32.82

連結業績推移

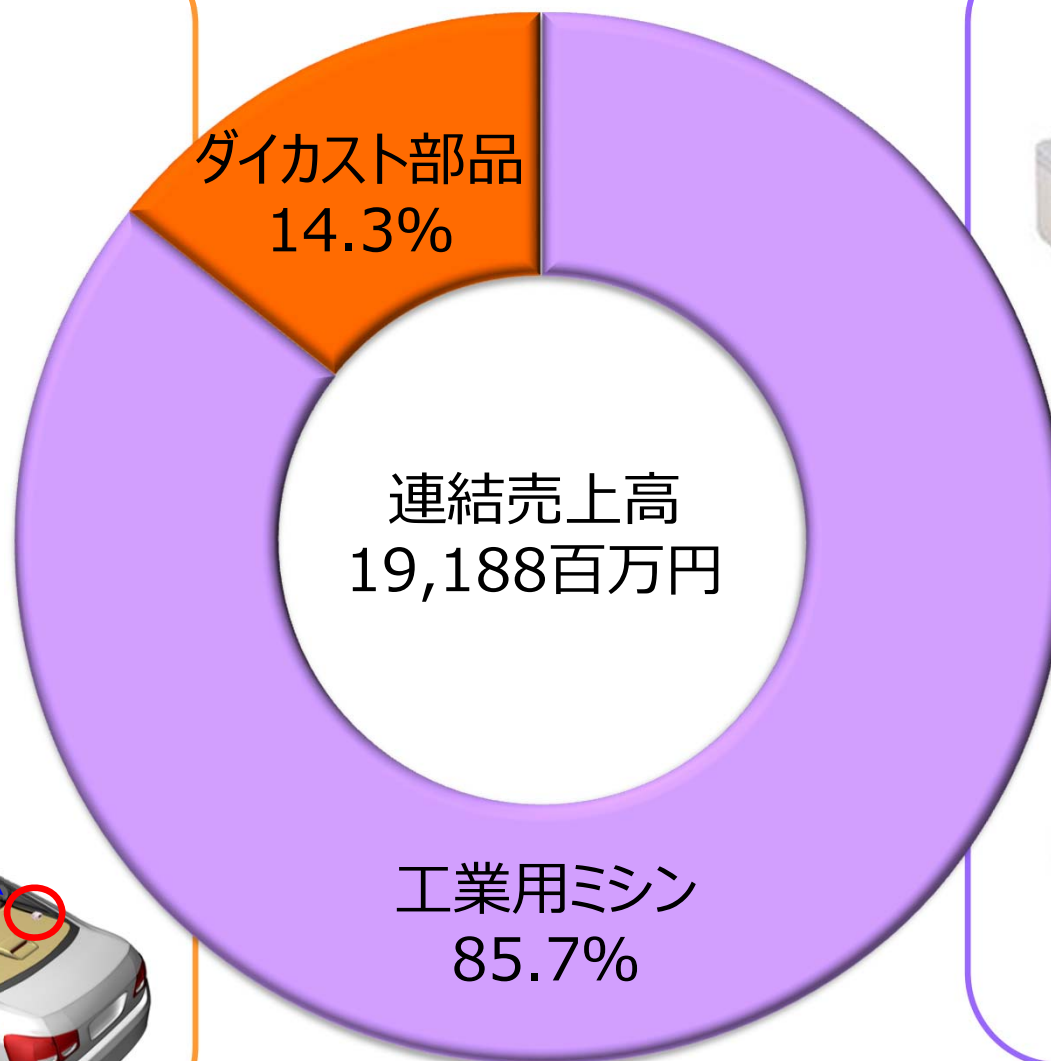
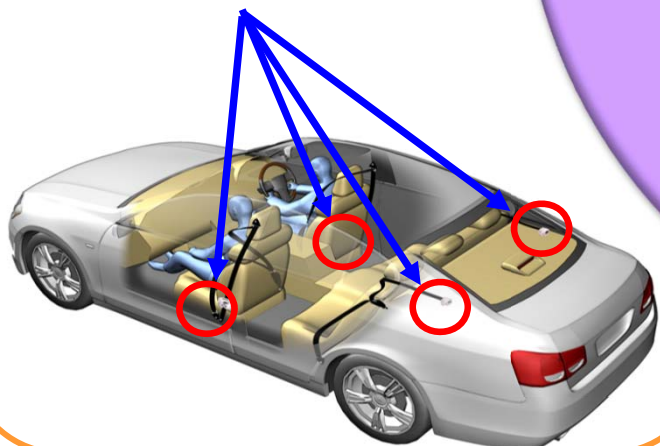
売上高 (左) 営業利益 (右) 経常利益 (右) 当期純利益 (右)





ダイカスト製品例イメージ図

ダイカスト製品
使用部位例



新型オーバーロックマシン

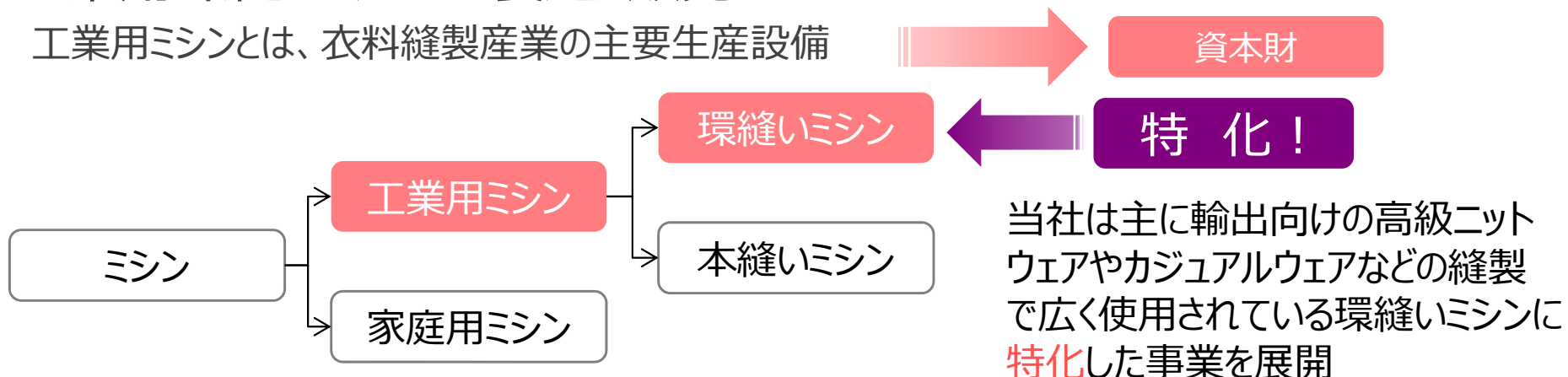


新型偏平縫いマシン

※グラフ内の%は平成28年3月期通期 売上高構成比率

工業用環縫いマシンの製造・販売

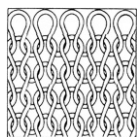
工業用マシンとは、衣料縫製産業の主要生産設備



環縫いマシンと本縫いマシンの違い

環縫いマシン

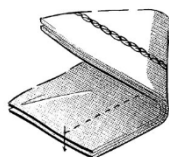
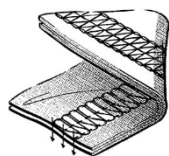
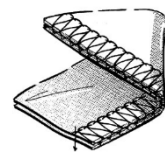
ニット（編まれたもの）の構造



環縫いの縫い目(断面図)

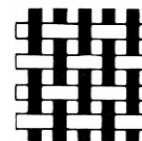


- カジュアルウェア
- スポーツウェア etc

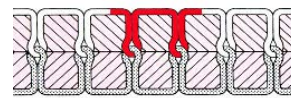


本縫いマシン

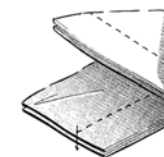
織物（織られたもの）の構造



本縫いの縫い目(断面図)

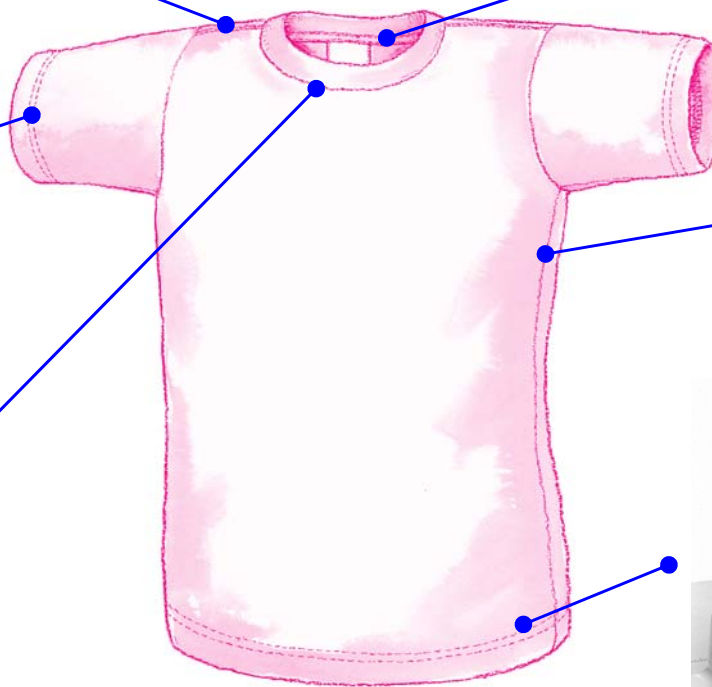
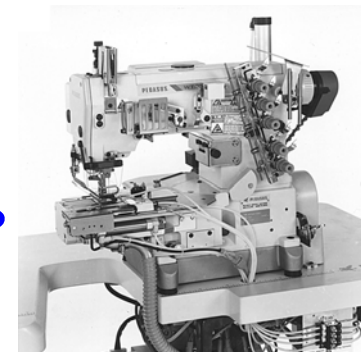
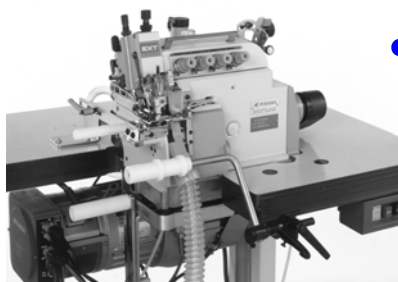
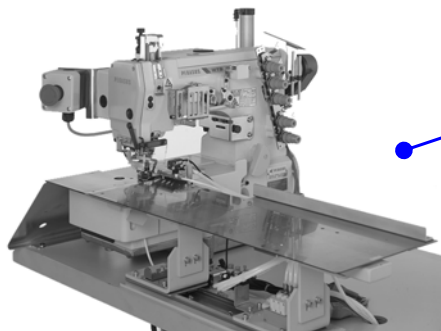
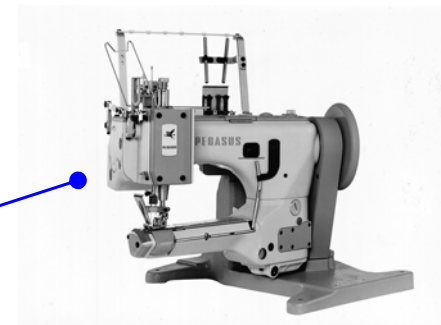


- スーツ
- ジーパン etc

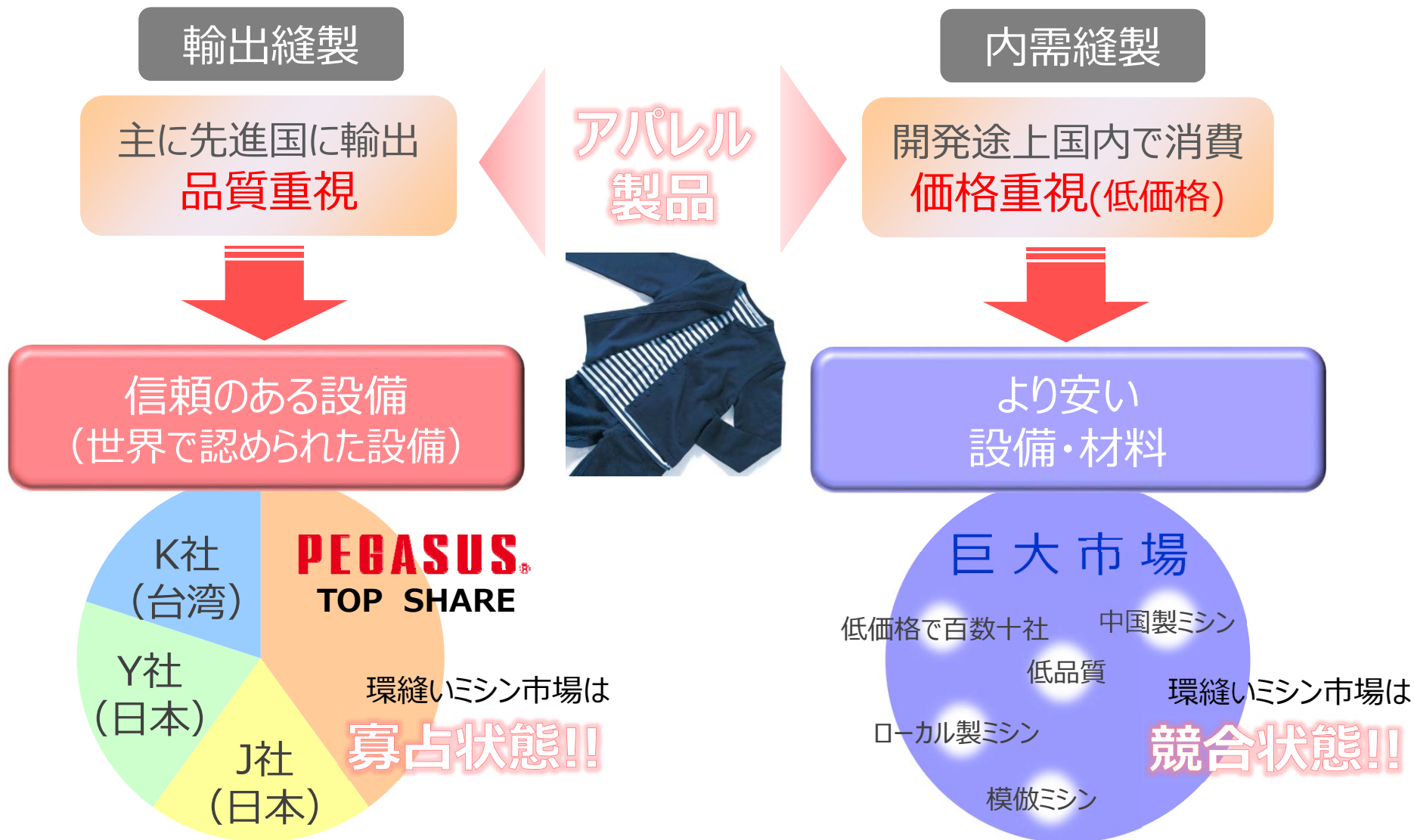


様々な用途に対して、豊富な機種を展開。その数 **3,500種類以上!!**

様々な用途に使われる環縫いミシン。
当社では現在、3,500種類以上の
品揃えで、ユーザーニーズに対応!!



高性能・高機能の環縫いミシン業界は寡占状態




 環縫い市場は安定的に拡大


世界人口の
増加



日常生活を支える三大要素

「衣」・「食」・「住」

生産財

当社の携わる工業用ミシン

PEGASUS

縫製産地は絶えず好条件の生産拠点を求めて移動

好条件とは

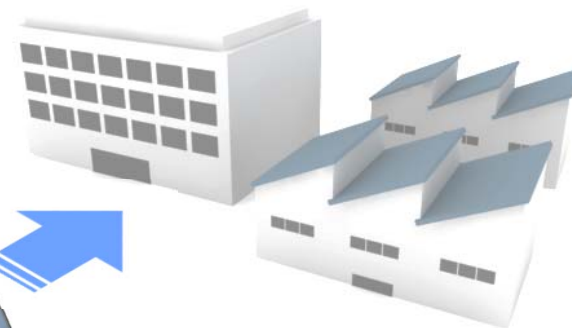
- 品質の良い縫製品が安く作れる
- まとまった数量が確保できる
- 納期が守れる
- 為替が安定している
- 関税が低い・・・等

これらの条件が充足されなくなると・・・



好条件を求めて
新たな縫製基地へ!!

新工場
設立



設備の新規導入



工業用ミシンの
販売チャンス!!

グローバルな生産および販売体制を構築

生産体制

工業用マシンにおいては日本、中国、ベトナムで、ダイカストは中国、ベトナムに加え2016年3月にメキシコに子会社設立

販売体制

工業用マシンにおいては各国の当社販売拠点を中心に、世界約**70**か国、約**200**社の販売代理店網を整備。

- 本社
- 製造拠点
- 販売拠点
- 支店営業所・駐在員事務所

EUROPE

CHINA

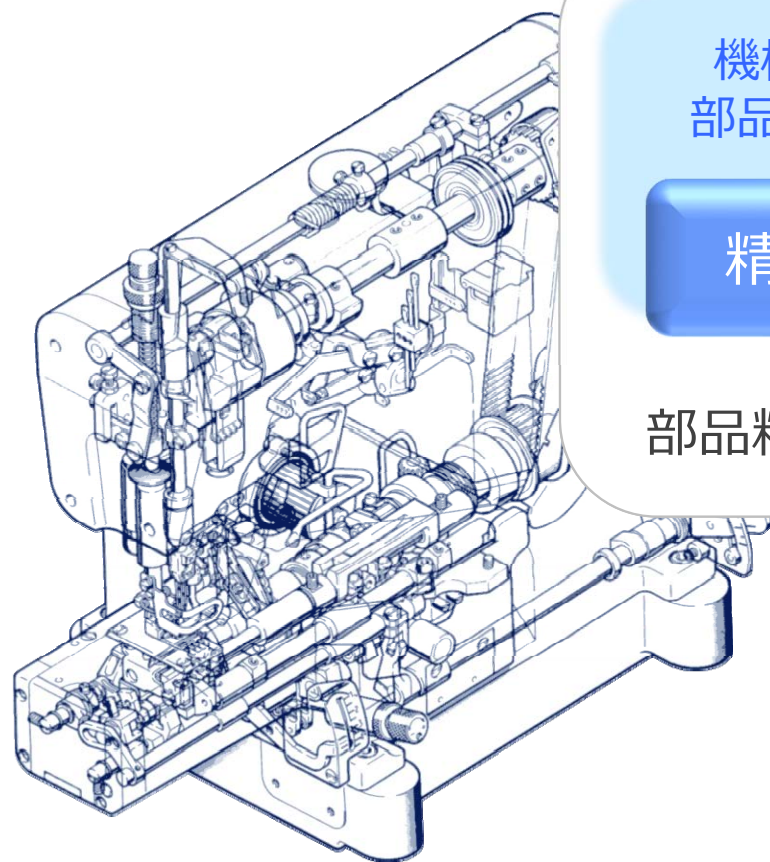
ASIA

JAPAN

AMERICA

 新規参入が難しい環縫いミシン業界

精密機械である高性能・高機能な環縫いミシン業界への参入は難しい



機構が複雑で
部品点数が多い

精密構造

バリエーションが
豊富

機種が多い

ニット素材はデリ
ケート (扱いにくい)

職人技の世界

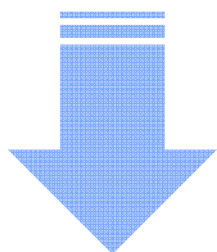
部品精度の管理や組立ノウハウ、教育制度の充実が必要



高い参入障壁

● 環縫いの PEGASUS としての知名度を確立

ミシン業界は
150年以上の歴史



2014年に創業
100周年を迎え
た環縫いミシンの
専業メーカー

1964年、欧州最大の
繊維総合メーカーによる
600時間耐久テストで、
当社のオーバーロックミシン
のみ

合格!

世界ブランド
PEGASUS[®]
確立

世界中で
顧客ニーズに
合わせた

3,500

種類以上の
豊富な機種を

展開!

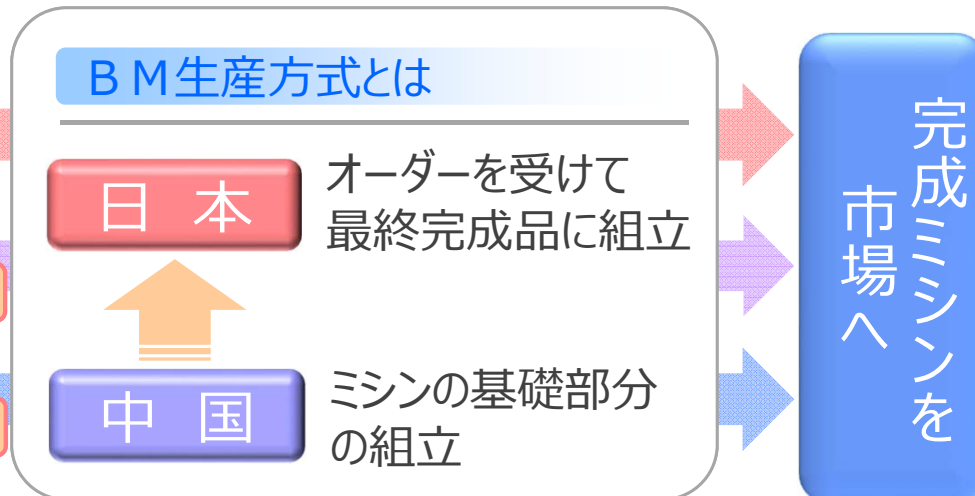
世界トップクラスの
開発技術力!



V-12 事業内容 工業用ミシン(BM生産方式)

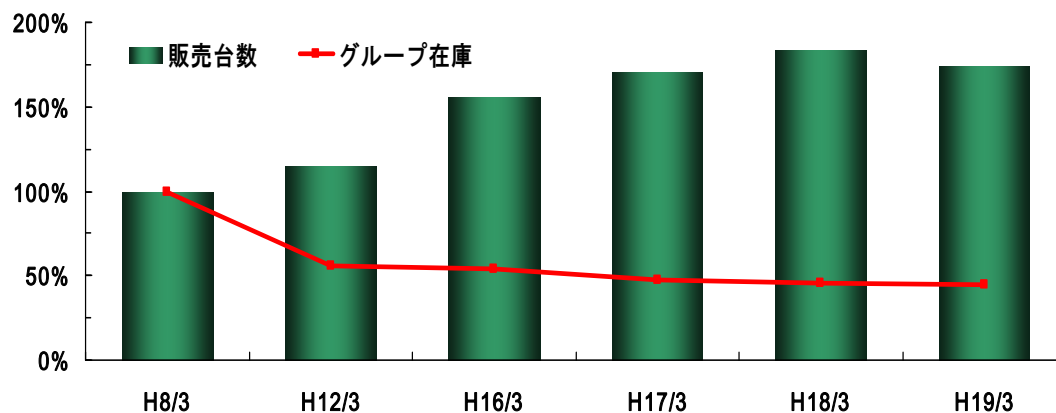
国際分業による効率的な生産体制

日本	一貫生産 1% BM完成 8~10%
中国	一貫生産 (内需用) 10~15% 委託生産 (内需以外) 30~35%
ベトナム	一貫生産 (内需用) 5% 委託生産 (内需以外) 30~35%



在庫削減効果 (当社販売台数と在庫の推移)

(平成8年3月の販売台数、グループ在庫をそれぞれ100%とする)



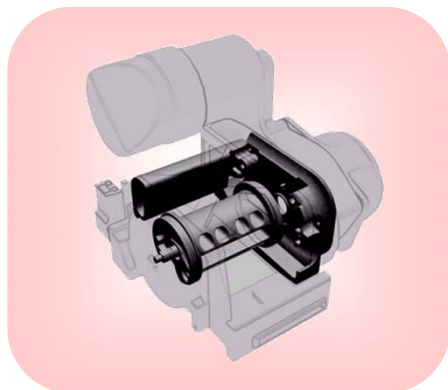
BM生産方式のメリット

- 通常21日の生産工程を最短3日へ短縮
- 1台のベースマシンから平均25種類のサブクラスに展開

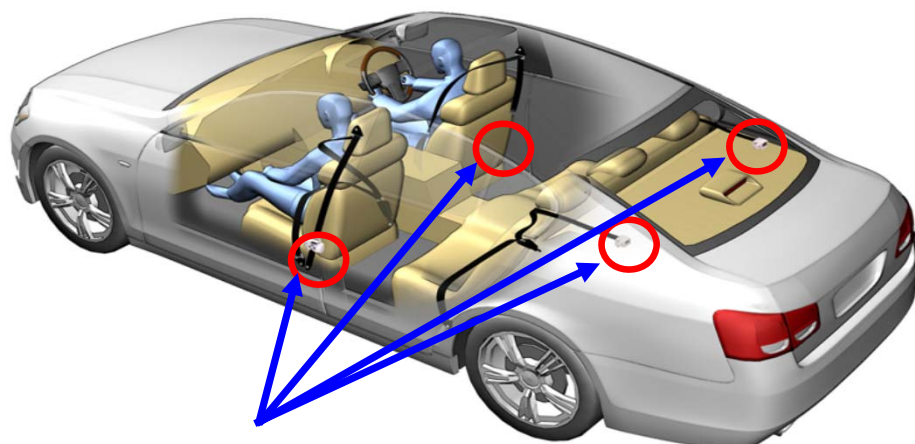
BM効果

納期短縮・コストダウン・在庫削減

- 各種ダイカストによる自動車用安全ベルト関連部品の製造・販売
グループの業績拡大ならびに企業価値の向上を目指さず。



リトラクター部分の
ダイカスト製品
イメージ図



使用部位

phase 1

平成19年（2007年）1月
中国・天津市に合弁会社設立

平成20年（2008年）1月、営業開始

中国国内で日本製と
同等品質の部品を**製造!**

当社の強み!

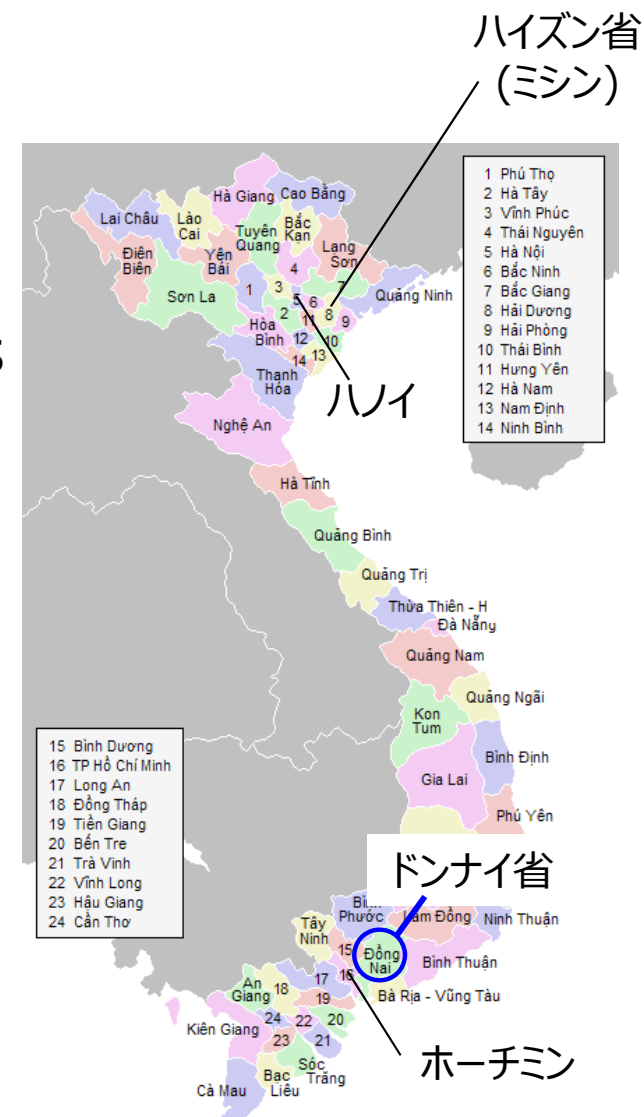
ダイカスト部品事業の拡大（1）

ダイカスト部品に関わる需要増加への対応を目的とし、ベトナムに新たな生産拠点を設立。

- 設立時期 平成25(2013)年4月10日
- 商号 PEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS (VIETNAM) CO., LTD.
- 所在地 ベトナム社会主義共和国ドンナイ省
- 代表者 原口 岳二
- 決算期 12月31日
- 資本金 1,030万米ドル
- 当社出資額 840万米ドル
(出資比率 81.55%)

【参考】

- 2014年世界の自動車生産台数（乗用車、商用車）
前年比2.6%増の約8,974万台（国際自動車工業連合会（OICA））



ダイカスト部品事業の拡大（2）

継続的に成長の見込める南北アメリカ大陸を次の重点市場として捉え、販路拡大のためメキシコに新たな拠点設立

- 設立時期 平成28(2016)年2月19日
- 商号 PEGASUS AUTO PARTS MONTERREY S.A. DE C.V.
- 所在地 メキシコ合衆国ヌエボ・レオン州 モンテレイ市
- 代表者 美馬 正道
- 決算期 12月31日
- 資本金 8.5百万メキシコペソ（約52百万円）
- 株主・持株比率 当社 99.9%

【参考】

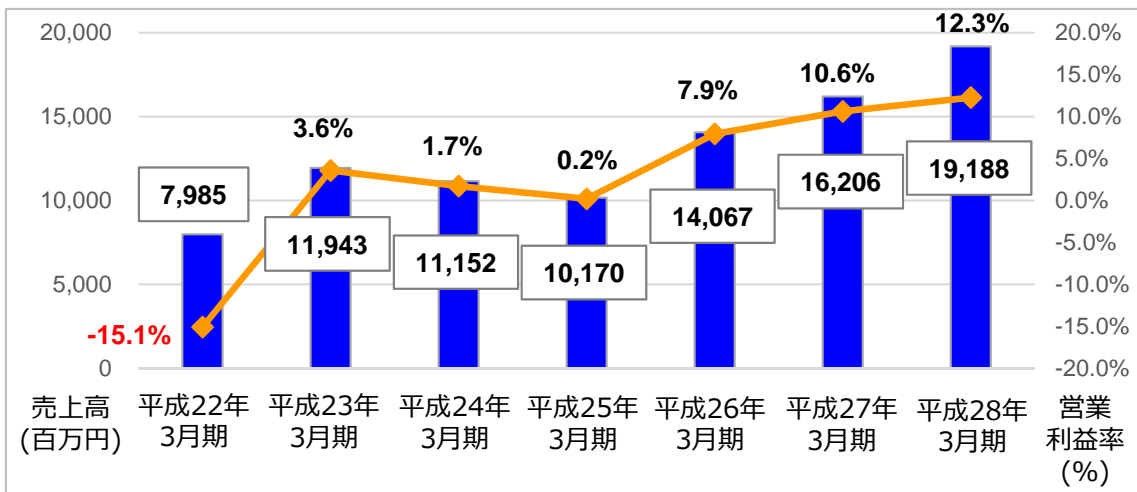
- 2014年世界の自動車生産台数（乗用車、商用車）
前年比2.6%増の約8,974万台（国際自動車工業連合会（OICA））



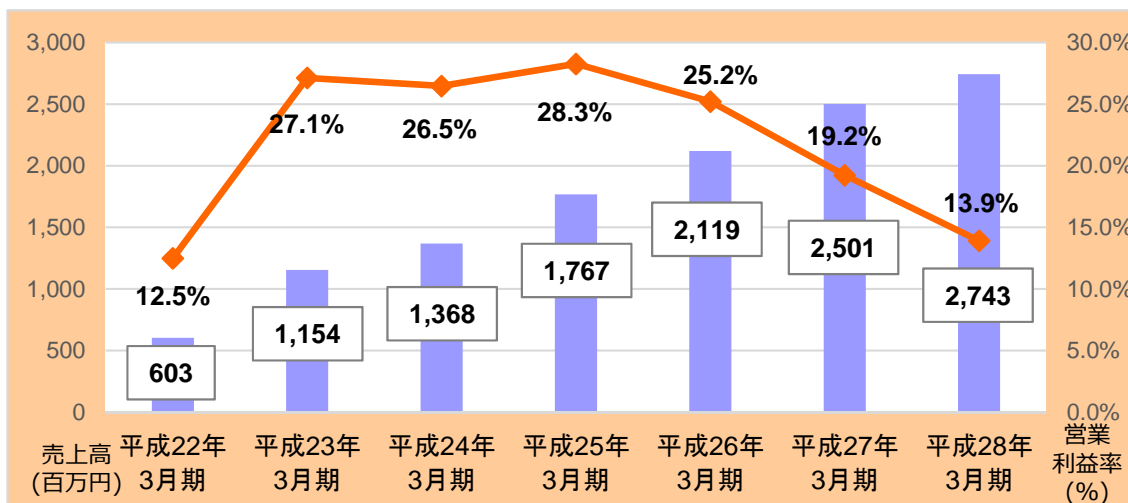
V-16 事業内容 ダイカスト

ダイカスト事業を収益の第2の柱へ

連結業績推移



ダイカスト事業 業績推移



Phase 2

収益の第2の柱として発展させ、グループの業績拡大ならびに企業価値の向上を目指す。

- 成28年3月、メキシコ・ヌエボ・レオン州モンテレイ市に会社設立。南北アメリカ市場に向け、販売体制整備。
- 平成26年11月、天津P S AにてISO/TS16949 (BSI認証) 取得。欧米自動車メーカーへの新規参入に向けて優位に。
- 平成25年 (2013年) 4月、ベトナム・ドンナイ省 (ホーチミン近郊) に合弁会社設立。平成26年 (2014年) 2月に営業開始。
- 天津工場は第1フェーズで得たノウハウによる高付加価値化と生産能力の増強へ。



企業理念

「人」と「技術」を通じて、
よりよい製品・サービス・品質の
提供に取り組み、社会の発展に
貢献すること

経営基本方針

- 世界の人々と交流を深め、信頼される企業活動を展開します。
- ペガサス・テクノロジーを究め、世界品質のものづくりを目指します。
- 常にお客様から学び、ニーズを形にし、サービスや情報の提供に最善をつくします。
- 関係先、社員との信頼関係を築き、互いの成長発展のために努力します。



ペガサスミシン製造株式会社

本資料お取扱上のご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点における入手可能な情報及び将来の経済環境の予想等に基づき作成しており、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。